

2024.3.13 理事会承認
2024.3.25 評議員会承認

令和6(2024)年度

事業計画書

社会福祉法人 恩賜財団 東京都同胞援護会

社会福祉法人 恩賜 財団 東京都同胞援護会憲章（同援憲章）

－ 同援憲章 －

同胞援護会は、敗戦後まもなく戦時下の軍人援護会と戦災援護会の合併を機に全国組織として、日本の社会事業発展を目指して誕生しました。

やがて全国支部組織から独立し、東京都同胞援護会として、戦後の復興事業から新しい社会福祉を目標として生まれ変わりました。

発足において同胞援護会は、「同胞愛」、「四海皆兄弟」、「助け合い」の言葉を基本理念に掲げました。戦後の荒廃した社会にあつて、何よりも国民の復興に向けた精神のよりどころを高く標榜したものでした。

同胞援護会は、戦後の混乱期から幾多の時代の変遷にあつても、変わることなく社会福祉の道を、多くの人々とともに歩んできました。

この精神は現在もなお同胞援護会の理念として、強く受け継がれているものであります。

いずれの時代にあつても福祉は普遍的なものであり、私たちは常に地域の皆様とともに、基本的人権の思想を何よりも尊重し、真の福祉を目指して迷うことなく進んでまいります。

東京都同胞援護会は、これからもこの崇高な理念を基本にして、福祉社会の恵沢を、全ての人々とわかちあうために努めていきます。

－ 基本理念 －

- 1 個人の尊厳をまもり、利用者の意向を十分に尊重いたします。
- 2 利用者の心身の健全と、一人ひとりに応じた自立を支援いたします。
- 3 地域の皆さんと一緒に福祉のまちづくりに努めます。

－ 基本方針 －

- 1 利用者の立場に立ってサービスを考えます。
- 2 利用者のため質の高いサービスを提供します。
- 3 笑顔と挨拶と礼儀を大切にします。
- 4 透明で開かれた施設を目指します。
- 5 健全な施設経営を目指します。

目次

I	2024年度 事業計画	1
	1. 本会の経営における2024年度の重点項目	2
	2. 中長期計画の行動指針に基づく2024年度の重点項目	2
	3. 2024年度の主要な施設整備計画	5
	4. 2024年度 運営施設(事業)一覧	6
II	事業 経営	8
	1. 保育支援系施設の経営	8
	2. 高齢者支援系施設の経営	20
	3. 障害者支援系施設の経営	40
	4. 児童・女性支援系施設の経営	50
	5. 医療事業施設の経営	57
	6. 収益事業の経営	60
	7. 社会貢献事業	61
	8. 人材育成事業	62
III	職員福利厚生制度ならびに職員研修制度	63
IV	評議員会及び理事会	68
V	事務局主要業務	69
VI	施設長会及び各種委員会	70

I 2024年度 事業計画

令和6年度の我が国の社会保障関係費は、過去最大の36兆8,687億円となり、前年度に比べて2.3%増の8,506億円が増額されました。報酬改定では、診療報酬+0.88%、介護報酬+1.59%、障害福祉サービス等報酬+1.12%となり職員のベースアップが反映したプラス改定となりました。

一方で、東京都の福祉・保健分野の歳出予算は、018サポート(18歳以下に月5,000円給付)の継続実施など、引き続き子ども支援策に力を入れる一方、介護や障害分野で従事する職員の住居費を補助する事業経費の増などにより4.7%増の725億円が増額されました。

本会としては上記の情勢を踏まえ、中長期計画に沿って魅力ある未来をつくるための「持続的成長」を目指した経営を行うとともに、地域に根差した事業の着実な継続や社会貢献活動に取り組んでまいります。

事業実施にあたりましては、利用者の安心・安全の確保を第一に目指すとともに、業務の高度化・効率化を目指してデジタル化推進のための専属の担当部署を新設し、DX推進に取り組みます。その結果として人にやさしい職場環境を実現するとともに、利用者お一人おひとりのニーズに即した温もりのあるサービスの提供に努めます。また、引き続き安定した財務基盤の強化、サービスの担い手である人材の確保と育成を重点目標にいたします。

来年度の新規事業としては、まず杉並区南部の地域ニーズに根差したものとして、都有地活用による障害者支援施設「仮称久我山生活園」の本格的な建設に着手します。この施設では、障害のある方の多様な価値観や障害特性に合わせた地域生活が継続できるよう、またご家庭での生活が困難になった時や高齢化により生活環境が変化した場合を視野に入れて将来につながる支援サービスを提供します。生活介護40名、短期入所2名、グループホーム2ユニット10名、地域交流スペースを併設し、障がいの有無によって分け隔てられることなく社会の一員として安心して生活が送れるよう地域に根差した運営を目指します。

また、児童養護施設双葉園では家庭的養護の推進を実現していくために、2か所目のグループホームの8月開設を計画しています。旧婦人保護施設いこいの家は、一人の女性としてその人らしい自立した生活を送れるよう4月1日の「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」の施行に伴い、女性自立支援施設へ衣替えし多様なニーズに対応できる事業展開を行ってまいります。

次に、福祉人材の育成と職場環境の整備については、インフレ率を上回る賃上げがあらゆる業種・団体に対して求められておりますが、本会においても冒頭に上げた各種報酬等に措置されている給与引き上げ分や加算を基に処遇改善に関する各種手当を見直し、賃上げ等確実な処遇改善を行ってまいります。各施設では処遇改善に相応のサービスの質向上に努め、デジタル技術を活用した業務改善並びに労働生産性を上げる取り組みも同時に行ってまいります。さらに福祉人材の確保と定着のために、本会では「人を大切にする」(職員が互いに一人ひとりの人格を尊重し合い、信頼関係で結ばれ、安心・安全な職場づくりを進める)ことを実現するため、一般職員には階層別研修に加えメンタルトレーニング研修を、管理職に対しては組織マネジメント研修をそれぞれ継続して実施してまいります。

財務基盤の強化については、老朽化した施設の建替えのための財源確保や賃金の上昇を見据え、社会福祉事業を安定的に支える収益事業については、事業局による新規顧客の開拓をはじめ、不動産賃貸事業の適正な管理や確実な資産運用を進め、また業務委託の見直しなど経費削減の具体化に努め、持続可能な財務体質の強化を図ってまいります。

昭島病院については、医療の質や安全、持続可能な医療提供体制を確保するため、医師の働き方改革に沿った診療環境を整え、医療機器や設備の更新を計画的におこなってまいります。更には診療報酬改定及び「地域の医療需要の変化」への対応として、病棟や外来、訪問診療、リハビリテーション体制の充実に取り組み地域医療の中核的な役割を果たしてまいります。

本年度も役職員一丸となり、利用者の皆様や地域の方々から信頼される法人であり続けるために精進してまいります。

2024年4月1日

社会福祉法人 恩賜財団東京都同僚援護会
理事長 飯山 幸雄

1. 本会の経営における2024年度の重点項目

- ・事業の着実な継続
- ・利用者の立場に立った質の高いサービスの提供
- ・安定した財務基盤の確立
- ・人材の確保と育成
- ・経営組織体制の強化
- ・社会貢献活動への取組み

2. 中長期計画の行動指針に基づく2024年度の重点項目

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者の安全・安心の確保を第一に目指すとともに、デジタル化のための専属の担当部署を新設しDXの推進を図ることと、人にやさしい職場環境の実現とともに利用者の立場に立った質の高いサービスの提供を目指します。
- ・障害者支援施設「仮称久我山生活園」の本格的な建設に着手し、障害のある方の多様な価値観や障害特性に合わせた地域生活が継続できるよう、またご家庭での生活が困難になった時や高齢化により生活環境が変化した場合を視野に入れて将来につながる支援サービスの提供を目指します。
- ・老朽化した施設の移転改築計画の具体化を進め、活動基盤の強化を図ります。
(ニューフジホーム:改築を基本とする再整備計画の推進、万世敬老園:中長期計画の見直し)
- ・児童養護施設双葉園では家庭的養護の推進のために、8月にグループホーム2つを開設します。
- ・女性自立支援施設いこいの家では、一人の女性としてその人らしい自立した生活を送れるよう、4月1日の「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」の施行に伴い、多様な需要に対応できる事業を展開します。

ー 生活環境・利用環境向上の取組み ー

- ・園庭整備(むさしの保育園)
- ・空調設備整備(むさしの保育園、特別養護老人ホーム原町ホーム)
- ・ベッド入替(救護施設昭島荘、昭島病院)
- ・車輛入替(軽費老人ホームサンホーム、女性自立支援施設いこいの家、事業局)
- ・給湯設備整備(特別養護老人ホームニューフジホーム)

◆ 人材の育成と職場環境の整備

ー 生産性の向上に向けた職場環境の見直し ー

- ・人事考課の考課者を対象に、「1on1ミーティングスキル」を身につける研修を実施するとともに、一般職員に対してはメンタルトレーニング研修等を実施することで、「しなやかな心」を持ち、業務パフォーマンスを向上させることを目指す研修を行います。
- ・デジタル技術を活用し、従来業務の見直しを行います。

ー 給与規程の見直し ー

- ・各種手当を再編するとともに、給与のベースアップを検討し、賃上げ等の確実な処遇改善を目指します。
- ・GLTD(団体長期障害所得補償保険)に加入し、休業時の所得補償を充実させます。
- ・私傷病での欠勤時の給与支給期間を変更します。

－ 人事考課の適正な実施 －

- ・人事考課考課者を対象とした「考課者マネジメント研修」を継続します。
- ・各グループで定めた「求める職員像」に基づき、適切に人事考課を実施します。

－ 人材の確保 －

- ・都外での採用説明会及び採用試験を実施します。
- ・対面式の就職説明会からウェブ上での説明会へシフトするため、求人説明動画を新たに製作します。ホームページ、動画サイトを活用するだけでなく、各種養成校に対してもオンラインで説明会を行います。
- ・外国人、障害者及び高齢者の雇用拡大に取り組みます。

－ 人材の育成 －

- ・管理職員の組織マネジメント力を高め、職員の能力を最大限発揮させます。
- ・専門的技術の習得及び習熟ならびに利用者の人権擁護の徹底を図ります。

－ 人材の定着に向けた取組み －

- ・各種ハラスメントがない職場を目指します。
- ・非正規職員の正規雇用転換を積極的に進めます。
- ・安全衛生方針に基づき、職員の災害を防止する取組みを行います。
- ・男性の育児休業を促進します。

－ 多様な働き方へ向けた取組み －

- ・法人職員全職種の労働時間を1日8時間(年間120日以上の日)を基準として統一し、さらに短時間勤務職員、週休3日制の導入、副業制度の導入等多様な働き方ができる制度を検討します。

－ 職員の災害防止 －

- ・業務災害及びヒヤリハット事案を分析し、職場における危険因子を除く取組みを実践します。
- ・自転車通勤時の事故防止のため、ヘルメット着用を促します。
- ・介護機器を適切に使用し、身体的な負担を軽減させます。

－ ICT人材の育成 －

- ・事務局にDX推進担当を配置し、デジタル技術を活用することで利用者支援方法及び各業務を見直し、組織改革並びに職員の意識改革を目指します。
- ・DX推進委員会を発足させ、各グループ施設で確実に実践できる体制を構築します。
- ・各施設におけるDX推進委員の育成を行います。

－ 心身状況に応じて働ける場づくり －

- ・ストレスチェック、EAP(従業員支援プログラム)サービスに加え、GLTD(団体長期障害所得補償保険)に加入し、職員が安心して働ける職場づくりを推進します。
- ・職場におけるハラスメントに対しての相談体制を強化するとともに、ハラスメントを起こさせない職場づくりを目指します。

◆ 法人組織・マネジメント強化

－ ガバナンスの強化・コンプライアンスの徹底 －

法人の施設が、事業運営上遵守しなければならない法令及び基準等を正確に理解し、適正な事業執行管理を継続して行えるよう、内部検査体制の強化を図ります。そのために、チェック項目の見直しを進めます。

－ 危機管理体制の強化 －

・施設における感染症予防対策として、衛生管理を徹底できるよう各施設と連携して強化します。
・新型コロナウイルス感染症及び防犯体制整備を含む、実効性のある事業継続計画（BCP）の策定及び見直しを行い、計画に基づく訓練を通して強化を図ります。
・感染症クラスター発生時及び災害時には緊急対応対策室を立ち上げ、各グループと連携しながらリスクの拡大を防ぎます。

－ 財務規律の強化 －

・実績に応じた予算を作成し月次予算による厳格な執行管理を行い、法人全体の財務基盤の強化を図ります。
・法人のスケールメリットを活かした運営費の弾力運用を行い、財務基盤の強化（施設整備財源確保や運用等）を図ります。
・特別養護老人ホームの収支改善（人員配置・稼働率・加算取得・経費削減）に取り組みます。
・業務委託を含む固定費の見直しを行います。
・事務用品や日用品などの物品調達の一元化や光熱水費の契約先変更などを適時適切に行い、コスト削減に努めます。
・収益性の高い集合住宅賃貸事業の安定的な経営を行い財務基盤の強化を目指します。
・物価高に備え収益事業の収益率向上に努めます。
・電子帳簿保存法やインボイス制度に対応します。

－ 情報発信の取組み －

・魅力ある広報のあり方の検討を通じて、本会のブランディングの推進を図ります。
・保育支援系グループにおいては、ホームページのバージョンアップを行い発信力を強化します。

3. 2024年度の主要な施設整備計画（10,000千円を超える計画）

- ・ 昭島病院 「ベッド／医療機器入替」

目的： 耐用年数到来のため機器の入替を行う。

金額： 電動ベッド 12,270千円（4～6月）

手術台 16,500千円（1～3月）

財源： 当期収入(医療事業収入)／前期末支払資金残高(繰越金)

- ・ 原町ホーム 「空調設備整備」

目的： 老朽化により空調設備の更新を行う。健康に配慮しより快適な居住環境を提供するため整備する。

時期： 7～9月

金額： 20,071千円

財源： 当期収入(介護事業収入)／前期末支払資金残高(繰越金)

- ・ 昭島荘 「ベッド入替」

目的： 老朽化により電動ベッドへ入替を行う。高齢化に伴いより安全で快適な居住空間を提供するため整備する。

時期： 7～9月

金額： 12,000千円

財源： 当期収入(生活保護事業収入)

- ・ (仮称)久我山生活園 「建物建設」

目的： 障害のある方が多様な価値観や障害特性に合わせた地域での生活が継続できるよう、地域に根差した新たな施設を建設します。

時期： 3月(竣工)

金額： 875,013千円

財源： 施設整備補助金(東京都・杉並区)／借入金(福祉医療機構)／繰入金

- ・ 小茂根福祉園 「給水給湯管ほか整備(板橋区事業)」

目的： 民営化に伴う建替え時期が未定のため、今後4～5年を見据え事業継続に必要な設備の更新を行う。

時期： 4～6月

金額： 17,303千円

財源： 板橋区の負担により実施する

4. 令和6(2024)年度 運営施設(事業)一覧

グループ名	種別	施設名	定員	職員数			
				正規職員	契約	非常勤	合計
保育支援系施設	保育所	むさしの保育園	169				
		本園	140	36	2	20	58
		方南分園	29				
		昭和郷保育園	100				
		大山保育園	130	26	1	18	45
		昭和郷第二保育園	190	29	6	25	60
		みなと保育園	63	17	1	9	27
		同援みどり保育園	125	25	2	13	40
		つつじが丘保育園	110	24	0	20	44
		同援さくら保育園	110	25	1	19	45
		同援はいじま保育園	50	11	2	15	28
		同援いぐさ保育園	60	12	0	12	24
	保育施設計		1,107	224	22	165	411
高齢者支援系施設	救護施設	昭島荘	100	29	8	15	52
	養護老人ホーム	万世敬老園	90	13	6	5	24
	軽費老人ホーム	サンホーム	50	12	3	6	21
	小計		240	54	17	26	97
	特別養護老人ホーム	フジホーム	100	42	6	27	75
		ニューフジホーム	100	43	4	19	66
		原町ホーム	50	16	9	7	32
		ゆたか苑	50	26	0	12	38
		ひかり苑	50	17	11	13	41
	小計(介護施設)		350	144	30	78	252
	短期入所生活介護(予防)事業	フジホーム	(6)	4	—	—	—
		ニューフジホーム	(6)	4	—	—	—
		原町ホーム	(4)	2	—	—	—
		ゆたか苑	(4)	4	—	—	—
		ひかり苑	(5)	4	—	—	—
	認知症対応型老人共同生活援助事業(グループホーム)	グループホームかえで	18	2	4	13	19
		原町グループホーム	18	8	3	6	17
	通所介護(予防)事業	フジ・デイサービスセンター	25	2	0	8	10
		東大和市ふれあいデイセンターひかり苑	12	1	3	2	6
	地域包括支援センター	新宿区榎町高齢者総合相談センター	—	9	0	2	11
		昭島市中部地域包括支援センターあいぼっく	—	3	0	4	7
	居宅介護支援事業所	フジホーム	—	3	1	1	5
		原町ホーム	—	2	0	0	2
		ゆたか苑	—	1	0	0	1
	小規模多機能型居宅介護事業	原町小規模多機能居宅介護センター	25	5	1	8	14
		昭和郷小規模多機能居宅介護センター	25	3	6	8	17
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	昭和郷訪問介護センター	—	6	3	2	11
	小計(介護在宅)		141	45	21	54	120
	公益事業	フジホーム診療所	—	—	—	—	—
		介護職員初任者研修事業	—	—	—	—	—
さくらガーデン(サービス付き高齢者向け住宅)		49	1	1	12	14	
高齢者施設計		780	244	69	170	483	

グループ名	種別	施設名		定員	職員数					
					正規職員	契約	非常勤	合計		
障害者支援施設	障害者支援施設（入所）	さやま園	施設入所支援	96	100	63	16	47	126	
			生活介護	(96)						
			短期入所	4						
		小茂根福祉園	生活介護	40	70	28	3	2	33	
			就労継続支援B	30						
		障害福祉サービス（通所）	立川福祉作業所	生活介護	30	80	14	5	13	32
				就労継続支援B	44					
			就労移行支援	6						
		東村山生活実習所	生活介護	30	40	15	5	11	31	
			就労継続支援B	10						
			短期入所	2						
	心身障害者福祉ホーム	さくらんぼ			-	16	0	5	21	
	心身障害者福祉センター	さいわい福祉センター			-	24	0	9	33	
	共同生活援助事業 *1 (知的障害者グループホーム)			アミニティ富士見	6		-	(1)	-	-
				グリーンハイツ	6		-	(1)	-	-
				フレンズ・モエ	4		-	(1)	-	-
				パル	6		-	(1)	-	-
				それいゆ小川	7		-	(2)	-	-
				ファーム竹丘1	6		-	(2)	-	-
				ファーム竹丘2	7		-	(1)	-	-
				風のね	10		1	2	6	9
				レチオンス巣鴨	4		-	(1)	3	3
				はなみずき	4		-	(1)	1	1
ユーカリ				4		-	(1)	3	3	
夢オハナ				6		-	(1)	-	-	
結オハナ				6		-	(1)	-	-	
特定相談支援事業			さやま園	-	2(兼務)	-	-	-		
			立川福祉作業所	-	2(兼務)	-	-			
			さくらんぼ	-	1(兼務)	-	-			
障害者施設計			368	161	31	100	292			
児童・女性支援施設	母子生活支援施設（世帯）	サンライズ武蔵野		(20)	10	2	7	19		
			緊急一時保護	(1)						
		サンライズ万世		(20)	12	1	3	16		
			緊急一時保護	(2)						
	児童養護施設	双葉園		38	52	1	5	58		
			地域小規模「高嶋の家」	6	5	0	0	5		
			地域小規模「くすのき」	6	4	0	0	4		
			昭島市子ども トワイライトステイ事業	2	0	0	1	1		
	女性自立支援施設	いこいの家		40	13	0	0	13		
	児童厚生施設	昭島市児童センターばれっと		-	1	2	11	14		
児童・女性施設計			92 (43)	97	6	27	130			
施設合計			2,345 (43)	726	128	462	1,316			
医療	病院	昭島病院		199	240	8	117	365		
	訪問看護	昭島病院訪問看護ステーション		-	4	1	2	7		
収益	印刷	事業局		-	14	1	0	15		
	不動産賃貸 *2	不動産賃貸事業		-	-	-	-	-		
	駐車場	病院駐車場		-	-	-	-	-		
合計			2,544 (43)	984	138	581	1,703			

*1 共同生活援助事業の職員数は委託事業のため職員数には含まない。()内の職員数は、委託職員数。
なお、計画作成担当者はバックアップ施設の職員が兼務する。

*2 南青山集合住宅賃貸業含む。

Ⅱ 事業経営

1. 保育支援系施設の経営

認可保育所を経営します。

1 グループ方針

- ・社会福祉法人としての責務を果たすため、法人の中長期計画の方針に沿って施設運営を行います。
- ・保育グループの理念・基本方針・目指す保育を基本とし、保育園に関わる全ての人の安全と安心を守りながら、子どもたちの可能性とミライを広げられる環境づくりに努めます。
- ・様々な機関、組織と連携・協働を進め、地域社会の子育て支援の拠点としての保育園の役割を果たします。
- ・SDGs(持続可能な開発目標)に目を向け、各園の状況に合わせて取り組みます。

2 グループ目標

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・子どもの人権や主体性を尊重した質の高い保育を展開するために、職員に対する倫理教育を充実させ、子どもの生きる力を育てます。
- ・利用者の安全・安心を守るために感染症対策・災害に対する事業継続計画(BCP)と安全計画をより実効性のあるものに見直し、訓練を実施します。
- ・子どもたちの健やかな成長のためにマルチリトメントの早期対応・予防に努めます。

◆ 地域社会への取組み

- ・インクルーシブな環境づくりに、積極的に取り組みます。
- ・地域社会の子育ての拠点として、ICTやオンラインも活用し前進する保育・魅力ある保育を発信しながら、子育て支援の充実を図ります。
- ・地域ニーズを把握し誰でも通園制度等、新しい子育て支援制度にも柔軟に対応します。
- ・ボランティアを広く受け入れ、地域拠点活動の充実を努めます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・職員育成計画に基づき職員の質の向上、多様なサービスを提供できる人材の育成及び研修の充実を図り、職員の定着に努めます。
- ・「目指す保育・職員像」の充実に向けて園内研修で学びを深めます。
- ・養成校への積極的なアプローチ、職場体験・ボランティアの充実を図り、新規採用者につなげます。
- ・心理的安全性を高め、働きやすい職場環境を職員とともに作ります。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・安定運営のために、省エネ対策や経費削減に努めます。
- ・制度を学び補助金の活用や加算の取得を積極的に行います。
- ・各保育園の特色ある保育を発信し園の利用につなげます。

令和6(2024)年度 事業計画（保育所）

施設名 **むさしの保育園**

定員 **169** 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
98.7%	97.7%	93.9%	96.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・「気持ちに寄り添いみんな笑顔」～大人も子どもも認め合える保育園～をテーマに小規模保育や縦割り保育・包括的セクシャリティ教育を通じ、学びと理解を深め、質の高い保育を展開します。
- ・利用者の安全と安心を守るため、BCPと安全計画を基にした訓練を実施し、様々なりスクに対応します。
- ・見守りカメラを活用した保育の振り返りを行います。
- ・利用者に保育参加を勧め子どもの発達を共有することで「孤育て」を防止し、虐待の予防と早期対応に取り組みます。

◆ 地域社会への取組み

- ・保育園の資源を有効活用し、共生社会の一員として地域の様々な組織と連携・協働を図ります。
- ・近隣の子育て世帯のニーズを捉え、柔軟な地域活動を行うことで開かれた保育園をアピールします。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・職員同士のコミュニケーションを育む園内研修を充実させ、「目指す職員像」へとスキルアップを図ります。
- ・大人も認め合える保育園を目指し、1on1を実践することで職員の定着と仕事のやりがいにつなげます。
- ・職場体験や実習生・ボランティアの受け入れを積極的に行い、SNSも活用しながら人材確保に努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・修繕を計画的に行い省エネ対策や効率化を図り、経費削減に努め、保育の中でSDGsに取り組みます。
- ・特色のある保育を明確化し、地域拠点活動に園全体で取り組み、稼働率の維持に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
園庭盛り土修繕	4,323	防犯カメラ取替	1,005	1Fエアコン修繕	4,620		
				空気清浄機(×2)	660		
購入等合計	4,323	購入等合計	1,005	購入等合計	5,280	購入等合計	0

令和6(2024)年度 事業計画 (保育所)

施設名 **昭和郷保育園**

定員 **100** 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
113.8%	116.3%	114.2%	114.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・同援保育グループで掲げた「目指す保育」「目指す職員像」を職員で共有し実践します。
- ・昭和郷保育園を取り巻く豊かな自然(緑・水・土)の中で、子どもたちが存分に遊び込み、感性が育つ保育を実践します。
- ・子どもの人権や主体性を尊重し、養護と教育を一体化した質の高い保育をします。幼児クラスは子ども自らが選択し取り組める選択式保育の実践、乳児クラスは一人ひとりの成長に合わせた個別での丁寧な保育をします。
- ・インクルーシブ保育の実践、保育園を利用する全ての人に居心地のよい環境を提供します。
- ・事業継続計画(BCP)をより実効性があるよう見直し、訓練を実施することで、災害に備えます。
- ・保育システムを利用して各家庭に保育の様子を配信し、保育の可視化、理解に努めます。
- ・保護者に寄り添い、多様性を認め保護者に合わせた育児を支援します。

◆ 地域社会への取組み

- ・昭島市の医療的ケア児を受け入れ、専門機関と連携し安全で質の高い医療的ケアと保育を提供します。また、医ケア児受け入れ拠点園として、市内の他の医ケア児受け入れ園と連携・協働し、知識や技術向上を目的として活動します。
- ・保育所体験や一時保育、園庭開放を通して、地域の保護者を支援します。また、保育士で編成している楽団が地域を訪問し演奏を披露するなど、地域に根差した保育園となるよう努めます。
- ・病後児保育の充実を図り、保護者が安心して働けるよう支援します。
- ・東日本矯正医療センターの研修生を受け入れ学ぶ場を提供し、地域貢献に努めます。
- ・ホームページをリニューアルし、誰もが見やすく活用できるものにします。保育園のPR、入園や就職につなげます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・同援保育グループの「目指す保育・職員像」の実践のため、職員が園内外の研修に参加し、学ぶ機会を多く設けます。
- ・職員の人権や個性を尊重し、一人ひとりに合わせた育成を行いながら、職員が生き生きと働きやすい環境づくりを目指します。職員の多様性を尊重し、得意分野を発揮する場を設けます。
- ・職員のアイデアや新しい企画を取り入れ反映させることで、職員のやる気向上につなげます。
- ・各クラスの業務状況を各リーダーが把握し連携を図り、業務の見直しや効率化を進めます。
- ・「保育の中身を話そう!」をコンセプトにおいて職員間で日頃の保育について話し合いを持つ時間を多く設けます。職員間で保育を語り合い、保育を共有することで人間関係を築き、風通しのよい職場環境にします。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・安定した運営に向けて稼働率の維持に努めます。
- ・SDGsの取組みを園全体で行い、経費削減のため省エネに取り組みます。
- ・地域活動事業等への取り組みや、各種補助金の取得を目指します。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
ホームページ作成	746						
給食室ガス台交換	526						
2歳児保育室床改修	941						
業務用冷凍冷蔵庫	1,100						
購入等合計	3,313	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和6(2024)年度 事業計画 (保育所)

施設名 大山保育園

定員 130 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
98.0%	98.4%	100.3%	100.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・子どもの人権や主体性を尊重した質の高い保育を展開するために、職員に対する倫理教育を充実させ子どもの生きる力を育てます。また自ら選択し「遊び込める」環境を整えます。
- ・小規模保育を取り入れ、園児一人ひとりの気持ちに寄り添い丁寧に関わることで信頼関係の構築に努め、自己肯定感を持てるように支援します。
- ・利用者の安全・安心を守るために、感染症対策・災害・緊急時の事業継続計画(BCP)・安全計画をより実効性のあるものに見直し、訓練を行います。
- ・子どもたちの健やかな成長のためにマルトリートメントの早期対応・予防に努めます。

◆ 地域社会への取組み

- ・インクルーシブな環境づくりに取り組みます。また育児困難家庭への支援に積極的に取り組みます。
- ・子育て支援のニーズが多様化していく中で、関係機関等と連携を図りそれぞれの家庭に合った支援に努めます。
- ・ICTやオンライン等を活用した子育てに関する情報提供や地域に向けた事業内容の工夫と子育て支援の充実を図り、地域社会の子育て拠点となるように努めます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・「目指す保育・職員像」の実現に向け、園内外の研修の充実を図り、多様なサービスができる人材を育てます。
- ・職員育成計画に基づいた職員の質の向上を図ります。またキャリアに合わせた資格認定を推進し、計画的なキャリアアップにつなげ職員の定着に努めます。
- ・職員間でお互いを認め合い、働きがいのある働きやすい職場環境を職員とともに作ります。
- ・保育士養成校への積極的なアプローチや、職場体験・ボランティア受け入れなど、新規採用につなげるよう努めます。

◆ 財務基盤の強化に向けた取組み

- ・資源の節減・節約を心掛け、経費削減に努めます。(SDGs)
- ・制度を学び補助金の活用や加算の取得を積極的に行い、安定した経営につなげます。
- ・特色ある保育を発信することで園の利用につなげ稼働率維持に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
小規模保育用 パーティション	1,080	ノートPC(×6)	1,020				
ノートPC(×4)	680						
購入等合計	1,760	購入等合計	1,020	購入等合計	0	購入等合計	0

令和6(2024)年度 事業計画 (保育所)

施設名 **昭和郷第二保育園**

定員 **190** 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
104.2%	103.2%	98.9%	100.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・理念・方針・保育グループが「目指す保育」を職員間で共有し、保育の質の向上を目指します。
- ・様々な経験・体験を通して子どもの自主性・主体性を育み、園全体で一人ひとりの健やかな育ちの援助に努めます。
- ・子どもたちの健やかな成長のために、マルチリトメントの早期対応、予防に努めます。
- ・保育園に係る全ての人の安全と安心を守るために災害に対する事業継続計画(BCP)、安全計画をより実効性のあるものに見直し、訓練を実施します。
- ・保育システムアプリを使用し、利用者への情報提供をスムーズに行います。

◆ 地域社会への取組み

- ・待機児童対策のための定期一時保育や一時保育(一般型)を充実させ、地域の保護者の支援に努めます。
- ・障がい児や育児困難家庭へのサポートを行うために積極的に専門分野の学びに努め(心理士・発達支援アドバイザーの巡回指導)、連携・協働を通して保育園の役割を果たすとともに、保護者に寄り添いながら、ニーズに合った支援をします。
- ・身近な題材を中心とした育児講座を動画で配信し、育児相談・保育所体験・園庭開放等、園の取り組みや保育の流れを知ってもらい、入園につなげます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・「目指す保育・職員像」の実現に向けて、園内研修の充実を図ります。またキャリアに合わせた資格・認定の取得にチャレンジできるよう積極的に働きかけます。
- ・職員育成計画に基づき、内外の研修に積極的に参加し、質の向上に努めます。
- ・時間外労働について、業務効率化の意識向上と適切な申請を定着させることで、働きやすい職場づくりに努め、職員の定着を図ります。(ワークライフバランスの適正化)
- ・実習生の受け入れを積極的に行い、採用につなげます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・安定した運営を目指し、稼働率の維持に取り組むとともに、経費削減のための省エネに取り組めます。
- ・少子化による0歳児待機児童減少に伴った適正な職員配置に努めます。
- ・電気料削減のために、電気の供給会社を変更します。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
見守りカメラ	847	業務用食器洗浄機	1,485				
北園舎防水・ 室内天井材交換	684						
購入等合計	1,531	購入等合計	1,485	購入等合計	0	購入等合計	0

令和6(2024)年度 事業計画（保育所）

施設名 **みなと保育園**

定員 **63** 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
91.6%	83.3%	74.0%	87.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・「受け止める」をテーマに、子どもの人権や主体性を尊重した質の高い保育を展開するために、職員の倫理教育を充実させ、子どもの生きる力を育てます。
- ・少人数で家庭的、職員みんなで保育をしているという温かさを常に持ち保育につなげます。
- ・異文化に触れる体験や新たに取入れた「遊びながら学べる英語」を園の特徴として定着させます。
- ・子どもたちが安心して過ごせる環境を整え、感染症対策や災害時の事業継続計画(BCP)・安全計画をより実効性のあるものに見直し、訓練を行います。
- ・新しい子育て支援制度にも目を向け対応します。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域に向けた育児相談、育児講座等の子育て支援の充実を図り、ホームページを活用して情報を発信し園の利用につなげます。
- ・様々な機関、組織との連携・協働を通して地域社会における子育ての拠点としての保育所の役割を果たすとともに、地域に根差した施設運営に努めます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・「目指す保育・職員像」の実現に向け、職員の質の向上や多様なサービスを提供できる人材の育成を目指し、園内外の研修に積極的に参加します。
- ・働きやすい職場環境を職員とともに作り、人材の定着に努めます。
- ・職員に対する倫理教育の充実を図ります。
- ・実習生・ボランティアの受け入れを柔軟にし、人材確保につなげます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・安定した運営を行うために、稼働率の維持と職員の適正配置を行います。
- ・資源の節約と節減に努めます。(SDGs)
- ・特色ある保育を発信し、園の利用につなげます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和6(2024)年度 事業計画 (保育所)

施設名 同援みどり保育園

定員 125 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
104.0%	100.8%	102.3%	104.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・子どもの人権や主体性を尊重し、一人ひとりの成長に応じた適切な養護と教育を行います。「保育グループが目指す保育」の充実のために、乳児クラスは小グループ保育のやり方をさらに深め、幼児期は子どもたちが主体となる保育を実践し「生きる力・心の育ち」を育みます。「丁寧な保育」を通して保育の質の向上を目指します。
- ・子どもたちが安心して過ごせる生活の場を提供します。また安全計画を策定し、感染症対策や防災・減災、事業継続計画(BCP)の充実に向け災害対応訓練を行います。
- ・利用者の連絡ツールとして保育システムアプリを活用し、保護者と情報共有し子どもたちの育ちを支援します。

◆ 地域社会への取組み

- ・様々な機関、組織との連携・協働を通して、地域社会の子育ての拠点としての保育所の役割を果たします。また地域との関わりを大切に、近隣の保育園とも連携します。
- ・要支援児の受け入れや育児困難家庭への対応に積極的に取り組みます。また、虐待等の心配のある場合も適正な対応を行います。
- ・保育の専門性を活かし、保護者の気持ちを受け止めながら相談、サポートを行います。
- ・地域のニーズを把握し、地域に向けて開かれた保育園となるよう努めます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・園内外の研修(オンライン研修等)に積極的に参加し、職員のスキルアップや、保育グループが目指す職員となるよう努めます。また、福祉人材としての倫理教育の強化とともにコンプライアンスも重視します。
- ・人材育成を適切に行うことで安心して働ける職場環境をつくり、職員の定着に努めます。また心理的安全性を高め、働きやすい職場風土を目指し、園全体で更なる改善を行います。

◆ 財務基盤の強化に向けた取組み

- ・施設整備計画(園舎の建て替え)に向けて、省エネ対策や経費を削減し財務基盤の強化に努めます。また補助金の活用や加算の取得を積極的に行います。
- ・保育園の取り組みを地域にも発信し、園の利用につなげます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
ホームページ作成	700						
購入等合計	700	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和6(2024)年度 事業計画 (保育所)

施設名 **つつじが丘保育園**

定員 **110** 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
112.2%	109.6%	110.9%	108.1%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・保育所保育指針に沿った「全体的な計画」を基に、子どもの発達に沿った乳児4クラス編成、幼児縦割り保育の中で子ども一人ひとりに合わせた保育を展開します。
- ・グループ内で掲げた「目指す保育」について理解を深め、保護者の保育参加を引き続き行い、保育の理解につなげます。
- ・様々な実体験を通して、子どもの生きる力・感謝の気持ち・愛情を育てます。
- ・子どもたちの健やかな成長のために、マルチトリートメントの早期対応、予防に努めます。
- ・感染症対策にも対応した事業継続計画(BCP)・安全計画を見直しながら訓練を実施します。
- ・保育システムアプリを更に活用し、保護者よりスムーズに情報共有を図り、利用者サービスに努めます。
- ・SDGsの理解を深め、保育の中で継続して実践します。

◆ 地域社会への取組み

- ・様々な機関、組織との連携を強化して、地域社会の子育て支援の拠点としての保育所の役割を果たします。
- ・地域に向けて、新しくなったホームページを活用します。
- ・地域の高齢者施設や自治会などの関わりについて、新たな方法を模索し、保育の中で日常的に関わりを持つことで優しさや思いやりの気持ちを育てます。また互いに声を掛け合える関係性を構築し、地域に根ざした園として取り組みます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・職員育成計画に基づき職員の質の向上、多様なサービスを提供できる人材の育成、倫理教育・研修の充実を図ります。
- ・引き続き業務改善を図り、働きやすく居心地の良い職場環境整備(休憩室整備含む)を進め、人材の定着に努めます。
- ・職員採用につながるよう、新ホームページを活用し、実習生と職場体験希望者を積極的に受け入れ、また養成校と情報を共有し、より良い人材の確保に努めます。学生ボランティアの受け入れも定着しつつあるため、そこから将来の保育士、福祉人材の確保へとつなげられるように積極的に取り組みます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・地域に根ざした保育園としての取り組みを引き続き行い、入園につなげます。
- ・中長期計画にある園舎建て替えを見据え、安定した経営につなげます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
配膳カート	976	非常倉庫設置	704				
電解水生成装置(×2)	1,181						
職員休憩室整備	1,049						
購入等合計	3,206	購入等合計	704	購入等合計	0	購入等合計	0

令和6(2024)年度 事業計画 (保育所)

施設名 同援さくら保育園

定員 110 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
100.3%	99.5%	99.5%	100.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・子どもの人権と主体性を尊重した保育グループが目指す保育を実践し、子どもの生きる力を育てます。
- ・乳児は小グループの保育を実践し一人ひとりに丁寧に対応します。
- ・利用者の安全・安心を守るために、あらゆるリスクに対する事業継続計画(BCP)、安全計画の訓練実施と見直しを行い実効性を高めていきます。
- ・子どもの健やかな成長のためにマルトリートメントの早期発見・予防に努めます。
- ・開園から18年が経ちました。水漏れのある幼児洗面台と経年劣化で開閉が滞る園庭門扉を取り換え、汚れた壁紙の一部を補修し、子どもたちが安全で清潔に過ごせるようにします。
- ・育児休業が2年取れる保護者も増えたことから、2歳児の定員を2名増やし対応します。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域に向けて、園庭開放・育児講座・一時保育・定期一時保育等を通して、遊びの場の提供や子育てへの不安や悩みの解消等、保護者の負担の軽減に努めます。
- ・学生ボランティアを広く受け入れ、保育園の役割等を知らせます。
- ・ホームページを整備し、地域へのPRや採用活動につなげます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・保育グループの「目指す保育・職員像」の実現に向けて、職員間で園内研修を深めていきます。
- ・職員育成計画に基づいた研修の充実、キャリアに合わせた資格・認定を職能要件として明確にし、計画的なキャリアアップにつなげます。
- ・非常勤職員へ向けての園内研修(OJT)を定期的実施し、業務の標準化を図ります。
- ・働きやすい環境や、満足感・安心感のある職場風土を構築していくことで、職員の定着を目指します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・省エネ対策や経費の削減を行い、財務基盤の強化に努めます。
- ・効率的に働くとともに適正な職員配置を行います。
- ・特別事業や保育内容の特色を明確にすることで園の利用につなげます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
ホームページ作成	666	クロス補修	881				
幼児用洗面台交換	6,714	園庭門扉交換	1,353				
PC(×4)	640						
購入等合計	8,020	購入等合計	2,234	購入等合計	0	購入等合計	0

令和6(2024)年度 事業計画 (保育所)

施設名 **同援はいじま保育園**

定員 **50** 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
115.3%	117.5%	113.0%	116.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・保育グループの「目指す保育」についての学びを深め、グループ内でも切磋琢磨しあい、利用者満足につなげます。
- ・本園の特徴的な取り組み(インクルーシブな保育・個性・特性を認め合う保育、様々な実体験を通じた活動)、子どもの主張に応答的に対応する個別保育、子どもの発想や主体性が活かせる保育環境(フリーコーナー、個別活動)の充実に努めます。
- ・BCPIに沿った防災・安全計画の見直し及び訓練、大災害の想定を見越し、防災協定や地域との連携の機能を強化します。
- ・保護者とともに保育や子育ての話をする機会をもち、保育園に対するさらなる理解と満足を広げます。

◆ 地域社会への取り組み

- ・ホームページに加えSNSを活用し自園の魅力を伝えるとともに、より地域に根差した保育園を目指します。
- ・一時保育は様々な状況の家庭を柔軟に受け入れ、困った時に頼れる保育園となります。
- ・卒園児や職員家族のつながりでのボランティア受け入れを仕組み化し、将来を見越した保育拠点活動、つながりのある子育て支援を目指します。
- ・災害時の一時滞在所として機能できるよう、協定を結んでいる市や近隣保育園とも連携して訓練をします。
- ・近隣保育園と連携し、地域に開かれた子育て支援や子どもたちの就学支援につなげます。
- ・誰でも安心して遊べて相談できる場を提供するために、屋上開放や子育て相談カフェ、育児講座、相談事業を充実させます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・保育の質、専門性向上を強化するために、目標に沿った研修(インクルーシブ、地域・保護者支援等)を多く取り入れさらなる意識の統一を図ります。
- ・園内研修はディスカッションを中心とした自分たちで学び合える内容(自主活動、絵画等)を企画し、職員の自主性や向上心を育てます。
- ・保育士育成校と連携をとり、実習生の確保や新規採用につなげます。
- ・職員がお互いの得意不得意を認め合うことで、それぞれの力を発揮し全体の組織力をさらに強めます。また心理的安全性が高く、働き甲斐のある職場を職員全員で作り、人材の定着に務めます。
- ・保育グループの「人物像「保育」について他園からの刺激を吸収し、学びを深め、10園で保育の質の向上を目指します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取り組み

- ・職員の適正人数、事業費、事務費の適正な支出を目指し、経費の削減を図ります。
- ・地域活動の活性化や、一時預かり保育を可能な限り受けようとし、園児の安定した入園や収入につなげます。
- ・職員一人ひとりが地球環境に配慮し、限りある資源を大切に使う意識を高め、経費削減につなげます。
- ・保育の中で、廃材の利用やリサイクル運動を取り入れ、利用者とともにSDGsの認識を深めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		ホール壁張替	630				
購入等合計	0	購入等合計	630	購入等合計	0	購入等合計	0

令和6(2024)年度 事業計画（保育所）

施設名 同援いぐさ保育園

定員 60 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
—	45.0%	69.6%	75.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

・保護者の保育体験を積極的に呼びかけ、自園の取り組み・方針等をより具体的に把握してもらい、共に育ちあうように努めます。
 ・日々安全・安心な環境を整えると共に感染症・自然災害・緊急時に備えた対応ができるよう、BCP(事業継続計画)・安全計画の訓練を実施し実効性を高めます。
 ・子どもの気持ちに寄り添い、応答的な関わりをすることで主体的に様々な遊びや活動ができるようにします。
 ・第三者評価を実施します。客観的に分析し、より力を入れていく点・課題を明確にし利用者支援へつなげます。

◆ 地域社会への取組み

・様々な組織との連携・協働を図りながら、地域子育て支援の拠点となるよう、保育所としての役割を果たします。
 ・地域に向けて育児講座や保育所体験・子育てカフェを実施していく中で、入園前から園とのつながりを作り子育てを支援します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

・「目指す保育・職員像」の実現に向けて、園内外の研修を充実し、多様なサービスと質の高い保育を提供できる人材を育成します。
 ・職員一人ひとりが主体的に園を作り上げていき、やりがいにつなげます。
 ・ノンコンタクトタイムを定着させ、事務作業をする時間を確保します。また業務の簡易化と効率化も併せて進めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

・広報活動を積極的に行い入園につなげ、稼働率を上げられるよう努めます。
 ・補助金の活用や加算の取得を通して少しでも安定した経営につなげます。
 ・エネルギーや資源に対し、「つかう責任」を自覚し、経費の削減につなげます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
屋上遮光ネット (オーニング)	1,980						
購入等合計	1,980	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

2. 高齢者支援系施設の経営

救護施設、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、特別養護老人ホーム、その他事業(認知症対応型共同生活介護、通所介護、地域包括支援センター、居宅介護支援、小規模多機能型居宅介護施設、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、サービス付き高齢者向け住宅)を経営します。

1 グループ方針

- ・法人の中長期計画(第3期)の達成に邁進します。
- ・超高齢社会を見据えた取組みを行います。
- ・利用者の尊厳の保持を起点とした介護サービス、支援を提供します。
- ・各地域の中で、介護・福祉の拠点施設としての役割を果たします。
- ・安心して働ける生産性の高い職場環境をつくります。
- ・安定した事業所経営に努め、SDGs「持続可能な開発目標」に関わる取組みをします。

2 グループ目標

◆ 利用者支援サービスの充実

- 利用者の尊厳の保持を起点とした介護サービス、支援を提供します。
- ・倫理並びに法令遵守のための教育を充実します。
- ・資格取得のサポート、職員のキャリア形成を通じ専門性向上を推進します。
- ・ICT、ロボット等の積極的な活用や新しいサービス・支援を提供します。
- ・満足度の高い食事サービスの提供に務めます。

◆ 地域社会への取組み

- 各地域の中で、介護・福祉の拠点施設としての役割を果たします。
- ・共生社会の構築のため地域社会の一員として、地域課題の解決へ向けて取り組みます。
- ・グループ内の連携によるシームレスなサービス提供体制を構築します。
- ・生活圏域における他法人等との連携並びに支援に努めます。
- ・有事における避難所等としての機能構築に向けて取り組みます。
- ・地域における公益的な取組みを積極的に実践します。
- ・ニューフジホームの建て替えについて検討します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- 安心して働ける生産性の高い職場環境を作ります。
- ・等級基準に応じた、人材の確保、育成、定着に努めます。
- ・外国人職員を積極的に採用し、多様性を尊重した職場風土を目指します。
- ・各事業所から積極的に情報を発信します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- 安定した事業所経営に努め、SDGs「持続可能な開発目標」に関わる取組みをします。
- ・安定した事業経営のため、目標稼働率の達成と計画的な支出に努めます。
- ・コンプライアンスに対する意識を高めます。
- ・感染症等のリスクに備えます。

1 救護施設

身体や精神に障害があり、経済的理由も含めて日常生活を送るのが困難な人たちが、健康に安心して生活できるよう、生活扶助、医療扶助を行います。

2 養護老人ホーム

65歳以上であって、環境上の理由及び経済的理由により居宅において継続的な日常生活が困難な方を養護します。

3 軽費老人ホーム

60歳以上で生活費に充てることのできる収入が定められた基準以下で、身寄りのない、あるいは家庭の事情によって家族との同居が困難な方に利用契約により無料又は低額な料金で、日常生活上必要な便宜を供与します。

4 特別養護老人ホーム

65歳以上であって、心体上又は精神上著しい障害があるため常時介護を必要とし居宅において継続的な日常生活が困難な方を養護します。

5 認知症対応型共同生活介護事業

65歳以上で、認知症であるために日常生活を営むのに支障がある方に対して、共同生活する住居で入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の援助を行います。

6 通所介護事業

65歳以上であって、日常生活を営むのに支障がある方に、通所により入浴・食事の提供・機能訓練等各種のサービスを提供し、生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上並びにご家族の身体的・精神的な負担の軽減を図ります。

7 地域包括支援センター

地元区市からの委託により、高齢者の方が住みなれた地域で安心して暮らせるように、介護、福祉、健康、医療など様々な面から総合的な支援を行います。

8 居宅介護支援事業

介護を必要とされる方が、自宅で適切にサービスを利用できるように、ケアマネージャー（介護支援専門員）が心身の状況や生活環境、本人・家族の希望等に沿って、ケアプラン（居宅サービス計画）を作成したり、ケアプランに位置づけたサービスを提供する事業所等との連絡・調整などを行います。

9 小規模多機能型居宅介護事業

65歳以上で、身体上または精神上の障害があるために日常生活を営むのに支障がある方に対して、自宅において、またはこのサービスの拠点へ通い、もしくは短期間宿泊することにより、居宅介護及び機能訓練等を提供します。

10 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、定期的な巡回や随時通報への対応など、心身の状況に応じて、24時間365日必要なサービスを必要なタイミングで柔軟に提供します。
サービスの提供にあたっては、訪問介護員だけでなく看護師などと連携しているため、介護と看護の一体的なサービスを提供します。

11 サービス付き高齢者向け住宅

「高齢者住まい法（厚生労働省・国土交通省所管）」に基づく、高齢者にふさわしいバリアフリー構造等の住まいで、安心して暮らせる見守りサービス（安否確認、生活相談等）を備えた賃貸住宅を提供します。

令和6(2024)年度 事業計画 (救護施設)

施設名 昭島荘

定員 100 名

【地域における施設ミッション】

利用者の権利擁護を遵守して、個別支援計画に基づいた支援を実践します。
地域社会の要請に応えるため、循環型セーフティネット施設の機能を果たします。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
99.9%	100.5%	100.4%	100.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・個別支援計画に基づいた親切丁寧な支援を実践します。
- ・リハビリテーションに視点を置いた活動を増やし、活発な日常を作ります。
- ・居室のベッドの入れ替えを行い、快適で安心な住環境を整備します。
- ・郷内の事業所や住民との地域交流の機会をつくり、利用者の活躍の場を広げます。
- ・利用者の会を発展させ、利用者自身の自治へつながるよう支援します。
- ・暮らしや活動に過度な制限のかからない、流行に合わせた感染症対策を進めます。

◆ 地域社会への取組み

- ・生活困窮者就労訓練事業(中間就労)を実施し、制度の狭間にいる生活困窮者支援を実施します。
- ・居宅生活訓練棟の空き期間を有効利用して、昭島市生活福祉課と共同して一時居住喪失者支援を実施します。
- ・東社協救護部会と協同して職員研修や利用者の合同行事等へ参加します。
- ・昭和郷各事業所やボランティアと連携し、防災・バザー・各種行事を通して交流を図ります。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・建設的な意見交換や議論が活発になるように、これまでの会議体の再編を行います。また、よりスムーズな経営を目指し、決裁手順の見直しも図ります。
- ・実習生を積極的に受け入れ、人材確保の一端となるよう丁寧な実習支援を行います。
- ・エルダー制度を継続発展させ、長期的な人材育成に取り組めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・利用率100%を維持するために、待機者の状況を把握し、積極的に見学者を受け入れるとともに、福祉事務所、病院等に働きかけます。
- ・サービス推進費の加算項目について、継続的かつ適正に取得し、財政の安定に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
食堂空調機入替	869	介護支援システム	6,500	1Fトイレ改修	1,020		
デジタルひかり電話	597	網戸・サッシ修理	827				
		電動ベッド(×30)	12,000				
購入等合計	1,466	購入等合計	19,327	購入等合計	1,020	購入等合計	0

令和6(2024)年度 事業計画 (養護老人ホーム)

施設名 **万世敬老園**

定員 **90** 名
(令和6年4月1日 120名から変更)

【地域における施設ミッション】

養護を必要とした高齢者の自立支援と専門性を活かした地域での社会貢献を目指します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
80.2%	69.6%	81.0%	-

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者の主体的な生活を尊重し、安全で安心且つ健康的な生活を支援します。
- ・感染症対策を行いながら、地域の方と触れ合う機会を作り、心身ともに活性化につながるよう支援します。
- ・防災マニュアル、災害時等における事業継続計画(BCP)の随時見直しを行い、あらゆるリスクに備えます。
- ・関係機関との連携を強化し、利用者の希望や状態に合わせた暮らし方や、生活の場を提供できるよう支援します。
- ・利用者の心身の健康とお一人おひとりのこれからの生活を最優先に、万世敬老園の閉鎖に向けて、最後のお一人まで包括的な支援を継続します。

◆ 地域社会への取組み

- ・高齢者の住まいとして、また支援の専門機関としての機能を果たし、地域の課題解決に貢献するとともに地域包括ケアを推進します。
- ・東社協等関係団体と共に養護老人ホームとしての機能や役割を地域に発信します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・職員が安心して働ける風通しの良い職場環境を構築します。
- ・内外の研修に積極的に参加し、個々の職員のモチベーションアップにつなげ、多様な福祉サービスを提供できる人材を育成します。
- ・施設見学を受け入れ、養護老人ホームの仕組み、法人の歴史等を伝えることにより外部職員の人材育成にも寄与します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・施設機能を最大限活用し、運営費の確保につなげます。
- ・財務状況を常に把握するとともに、安定した事業が継続できるよう、資産の計画的な活用を行います。
- ・措置費単価が適正な単価となるように行政に見直しを訴えていきます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和6(2024)年度 事業計画 (軽費老人ホーム)

施設名 **サンホーム**

定員 **50** 名

【地域における施設ミッション】

地域包括ケアが推進される中で、地域連絡会等にも積極的に参加し、地域に根差した拠点づくりを目指します。またサンホームの利用者が地域で暮らす一員としての生活が継続できるよう支援します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
99.7%	99.3%	98.1%	100.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・福祉施設と高齢者向け住宅との違いを明確にするために、業務を見直し、限られた資源(人材等)を用いて一人でも多くの利用者に質の高いケアを提供します。
- ・業務の明確化と役割分担を見直し、報連相を徹底することでケアの質の向上を目指します。
- ・ニーズの多様化や要介護者が増加する中で、常に人権に配慮し、豊かで潤いのある生活を継続できるように支援します。
- ・リスクマネジメントの観点から利用者の安全・安心を守るためにも、自然災害および感染症に対する事業継続計画(BCP)の推進と随時見直しに努めます。
- ・利用者の生活の維持向上を目的とし、フレイル予防や施設整備に努めます。

◆ 地域社会への取り組み

- ・地域施設や他法人との連携を強化し、自施設にとどまることなく、幅広い支援を提供します。
- ・地域交流として、近隣住民や施設、学校等と協力して、人と人、施設と人がつながる取り組みを考え、実践します。
- ・地域貢献、地域支援の要であるサンホーム給食と小平給食の利用者数増に向け取り組みます。
- ・地域包括支援センターとの連携や、配食事業等を通じて地域のニーズ把握に努めます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・イレギュラーな事態が起きた場合でも職員が自身で判断できるよう、組織の理念や行動指針に基づいて、自発的な行動がとれる職員の育成に取り組みます。
- ・支援手順、作業手順を確認し、専門性の高いソーシャルワークに基づく支援ができるようOJTの仕組みづくりを行います。
- ・施設内外の研修に積極的に参加し、今後の高齢社会、地域社会に発信や貢献ができる人材の育成に努めます。
- ・4Sの視点で、安全な介護環境と働きやすい職場を整備し、丁寧な動作を心がけ、利用者にも職員にも優しい施設の実現に取り組みます。
- ・ICTの導入を進めオンライン研修等を活用し、介護職と相談員の双方の視点を兼ね備えた職員の育成に努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取り組み

- ・計画的な支出の推進を図り、日々の支出を見直して経営の安定化につなげるよう努めます。
- ・配食事業の拡大に努めるとともに、費用対効果の分析に努めます。
- ・必要な施設整備を進めるにあたり、取引の実例価格、需給の状況等を考慮し、適切な価格にて実施します。
- ・年間を通して委託業務内容の見直しを図り、持続的成長のためにコストの最適化を推進します。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
エアコン交換(×5)	588	食器消毒保管庫	811	配食事業用車輛	1,437	エアコン交換(×5)	588
電気温水器(×4)	599					電気温水器(×4)	599
購入等合計	1,187	購入等合計	811	購入等合計	1,437	購入等合計	1,187

令和6(2024)年度 事業計画（特別養護老人ホーム）

施設名	フジホーム		
定員	100	名	
			短期入所専用
			空床利用
			4
			6
			名
			名

【地域における施設ミッション】

関係機関と連携し、地域の方に安全・安心を提供できる拠点施設を目指します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
96.4%	95.6%	96.6%	97.1%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者の尊厳の保持を起点とし、その有する能力に応じた自己決定に基づく日常生活を営むことができるように介護・支援します。
- ・利用者の安全・安心を守るため、感染症予防対策、防災マニュアル、災害時等におけるBCPを随時見直します。
- ・看取りケアのさらなる充実に向けて、利用者への接し方や対応方法の改善などに常に職員全体で取り組みます。
- ・利用者の生活環境の改善のための物品の購入や修繕を行います。

◆ 地域社会への取組み

- ・自治体や地域と協力しながら、介護が必要となっても地域で暮らし続けられるよう介護・医療・福祉を一体で提供するとともに、地域ニーズを把握し、多様なサービスに取り組むなど、開かれた施設を目指します。
- ・昭島病院総合支援センター、地域包括支援センターと連携しながら緊急時の短期入所受け入れや在宅復帰時の調整において短期入所生活介護事業を活用し、地域のネットワークづくりに努めます。
- ・健康と福祉を通じて、取り残されない持続可能な社会づくりを目指します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・生産性の向上(人間関係、DX推進)に向けた職場環境を構築します。
- ・外国人介護職員を受け入れ、施設内に限らず国際的な福祉人材の育成に貢献します。
- ・4S活動(整理・整頓・清掃・清潔)に継続して取り組み、業務の効率化、バランスの取れた働き方を推進します。
- ・福祉を学ぶ実習生の積極的な受け入れを行い未来の人材の育成、人材の確保に努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・稼働率向上と加算取得による収入増を目指し、常にコスト削減を意識しながら健全な経営を目指します。
- ・施設整備を計画的に進めるため収支差額の増額を目指します。

【施設・設備整備計画】

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
				ノートPC(×5)	1,100	低床ベッド(×3)	1,440
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	1,100	購入等合計	1,440

(千円)

令和6(2024)年度 事業計画 (特別養護老人ホーム)

施設名	ニューフジホーム		
定員	100	名	
			短期入所専用
			空床利用
			4
			6
			名
			名

【地域における施設ミッション】

地域の住民が老後も安全・安心に暮らし続けられるように、専門的ケアを積極的に地域に還元するとともに、地域の拠点施設を目指します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
88.9%	92.7%	95.1%	95.8%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者に「丁寧な寄り添う介護」を提供するため、個別ニーズに応じた支援に努めます。
- ・利用者の生活の質向上にむけ、感染症対策に留意した活動の見直しを行います。
- ・利用者の重度化に対応し、個々に合った移乗・移動介助を検討し、リクライニング車椅子・電動ベッドを活用します。
- ・看取りの体制整備を促進し、最期まで安心して施設で過ごしていただけるよう病院と連携し、専門的ケアを提供します。
- ・リスクマネジメントの観点から利用者の安全・安心を守るためにも、感染症対策や防災マニュアル、災害時・感染時における事業継続計画(BCP)を随時見直します。

◆ 地域社会への取り組み

- ・ホームページのブログをこまめに更新し、地域の方にとって身近な施設となるよう情報提供に努めます。
- ・地域包括ケア推進に向けて昭島病院と連携し、ショートステイの利用等につなげます。
- ・感染予防を行いながらボランティアの受入再開に取り組みます。
- ・地域が求める高齢者福祉、介護サービスの推進に努めます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・出産・育児・介護での離職防止のための体制整備を継続して推進します。
- ・ロボット機器、見守り機器の活用や持ち上げない介護を推進し、職員の体の負担をなくす業務改善を進めます。
- ・新規職員の確保に努めます。
- ・職場のOJT体制を検討し、未経験の職員や外国人の職員への研修体制及び受入体制を構築します。
- ・インカムやアプリを活用し、円滑な情報共有を図るとともに、業務の効率化、コミュニケーションの円滑化を進めます。
- ・安定的な雇用確保、離職防止のため介護職員の休日日数を見直し、働きやすい職場環境を確立します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取り組み

- ・業務の見直しを進め、適切な人材を確保しつつ、将来を見据えた人材育成に努めます。
- ・数年後の建て替えを視野に、稼働率95.8%を目標に収支の均衡に努めます。
- ・稼働率向上のため、入院者の減少への取り組みの強化、感染症予防対策の充実、感染後の速やかな復旧体制の確立、退所後の速やかな入所、空床のショートステイ利用をさらに進めます。
- ・節電・節水に努め、消耗品・日用品は必要性を随時見直し、価格も比較検討し、経費の削減を図ります。

【施設・設備整備計画】

(千円)							
第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
				ボイラー交換	7,500		
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	7,500	購入等合計	0

令和6(2024)年度 事業計画 (特別養護老人ホーム)

施設名	原町ホーム		
定員	50	名	
			短期入所専用
			空床利用
			2
			4
			名
			名

【地域における施設ミッション】

各種事業を備えた地域の拠点として、地域住民が安心して暮らせるまちづくりに貢献します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
101.6%	98.9%	94.1%	96.4%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・「やさしさを起点とした介護」を実践し、その人らしい生活を支援します。
- ・利用者本位の徹底と、いつも笑顔あるケアにより利用者にとって幸せな施設を目指します。
- ・感染予防に留意し家族面会の充実やボランティアとの交流に努めます。
- ・利用者の生活環境の向上のための空調設備の交換を行います。
- ・ICT環境を整え、その活用を通じサービス向上につなげます。
- ・利用者の安全・安心を守るために、感染症対策や防災マニュアル、災害時における事業継続計画(BCP)を随時見直します。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域住民ならびに地域企業との交流事業(カフェメモリー・書道・体操)を通じフレイル予防に努めます。
- ・福祉避難所協定施設、成城学校避難所運営協議会参加団体として、地域住民や近隣町会とのつながりを強め地域包括ケアの一端を担えるよう役割を果たします。
- ・新宿区内社会福祉法人連絡会加盟法人と連携をとり地域住民のニーズに応えます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・安定的な雇用確保、離職防止のため、働きやすい職場環境を確立します。
- ・法令遵守を核とした運営及び利用者サービスの向上を目指し、法人内研修・施設内研修・外部研修等、多角的・重層的に人材育成強化を図ります。
- ・「持ち上げない介護」の実践や見守りセンサー等の活用を推進し、職員の負担を軽減します。利用者にとっても安全・安心な介護を進めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・収入と支出のバランスのとれた財務基盤をつくり、安定した施設経営を目指します。
- ・安定した稼働を維持できるよう、各セクションの連携を強化します。
- ・消耗品、日用品等の必要性を随時見直し経費の節減を図ります。
- ・各種加算取得状況を見直すとともに、新規加算の取得に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		空調設備整備	20,071	PC(×10)	1,518		
		無線LAN	3,633				
購入等合計	0	購入等合計	23,704	購入等合計	1,518	購入等合計	0

令和6(2024)年度 事業計画（特別養護老人ホーム）

施設名	ゆたか苑		
定員	50	名	
			短期入所専用
			空床利用
			4
			4
			名
			名

【地域における施設ミッション】

介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らし続けられるよう自治体や地域と協力して、地域の実情に則した多様なサービスを提供し、地域とともに歩む施設を目指します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
95.1%	95.3%	94.6%	97.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者、家族の心情に寄り添い、感染症対策に留意した生活様式の創出に努めます。
- ・個別支援やクラブ活動再開に向け感染症対策等を創意工夫することで、利用者の社会性を維持する支援を行います。
- ・利用者権利擁護の一環として「不適切ケア」のチェックを行い、虐待防止に努め、接遇向上の取組みを継続します。
- ・認知症対象者や症状緩和ケアが必要な看取り対象者へ、心理的なケアを積極的に行います。
- ・ICT利活用に向けた検討を進め、サービスの質向上を図り、利用者の生活空間が快適なものとなるように整備します。
- ・利用者の安全・安心を守るため、リスクマネジメントの観点から感染症対策や防災マニュアル、事業継続計画(BCP)の随時見直しを行います。

◆ 地域社会への取組み

- ・感染症流行に留意しながら地元自治体と協働して地域住民に対して施設を開放することで、施設機能を有効に活用します。
- ・地域交流事業(体操教室、栄養教室)、ならびに近隣町会との防災応援協定に基づいた車椅子操作等、施設の専門的なケアを地域に還元します。また、地域住民対象のランチ交流会開催を検討する中で、参加者の声に耳を傾け、地域課題解決の一助を担います。
- ・居宅支援事業所を中心に地域包括支援センターとの連携を密にとり、地域包括ケアシステムに寄与します。
- ・発災時の福祉避難所の役割を果たすため、自治体や町会との連携を図り、実動訓練を通して強固な体制を構築します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・職員がやりがいと希望を持ち続けられるように育成計画によるスキルアップや人材育成に努めます。
- ・喀痰吸引や認知症等の専門研修により実践に必要な知識技術を修得、利用者のニーズに応える支援を行います。
- ・人材難という喫緊の課題に対して、社会福祉実習生の積極的な受入れにより法人の将来を担う人材を確保します。
- ・ICTの利活用を進めるとともに介護支援ソフト等の既存システムを最大限運用してワークライフバランスを見据えた働き方改革に努めます。
- ・区内の他法人施設と連携して交換研修や職種、階層別の施設間交流の場を設け、モチベーションの維持向上に努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・科学的介護情報システム「LIFE」を活用した「LIFE関連加算」のさらなる加算取得を目指し、情報収集や体制整備を継続します。
- ・開所より四半世紀が経過し、老朽化した施設設備の改修を計画的に進め、コスト削減に努めます。
- ・収支状況や費用対効果に考慮した施設経営に努め、安定した財務基盤を築きます。

【施設・設備整備計画】

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		非常放送設備更新	1,705				
購入等合計	0	購入等合計	1,705	購入等合計	0	購入等合計	0

(千円)

令和6(2024)年度 事業計画 (特別養護老人ホーム)

施設名	ひかり苑		
定員	50	名	
			短期入所専用
			空床利用
			4
			5
			名
			名

【地域における施設ミッション】

社会福祉法人としての責務を全うするため、地域の方々や利用者、家族に信頼される施設として、福祉避難所の機能を高めるなど、社会的役割を積極的に果たします。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
97.5%	98.8%	95.8%	99.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・法人の理念と方針そして高齢者支援系グループ方針を遵守し業務を遂行します。
- ・利用者の人権を尊重し、自己決定に基づく自立した日常生活が送れるように支援します。
- ・「親切」「丁寧」「誠実」を起点に、個別ニーズに応じたサービスを提供し、新しい介護機器やICTを活用した介護を実践します。
- ・施設の老朽化に対して、法人中長期計画に基づいて施設設備の改修・更新を行い、快適な居住環境を提供します。
- ・リスクマネジメントの観点から利用者の安全・安心を守るために、見守りカメラの導入や感染症対策・防災マニュアル、災害時における事業継続計画(BCP)の随時見直しと適切な運用をします。

◆ 地域社会への取組み

- ・東村山市や富士見町福祉施設連絡会と連携しながら、地域の防犯、防災に向けた「富士見町あいさつ運動」に参加します。
- ・福祉避難所としての機能強化に向けて、東村山市福祉避難所連絡会に参加して役割を果たせるよう取り組みます。
- ・地域包括ケアシステム構築に向けて、自治体や東村山高齢者福祉施設連絡会と連携して福祉のまちづくりに取り組みます。
- ・地域包括支援センター等と連携しながら緊急時の短期入所等を積極的に受け入れ、地域に合わせた多様なサービスの拠点を目指します。
- ・特養・短期入所・認知症対応型通所介護と連携し、地域にとって必要なサービスを展開します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・職員が安心して働ける風通しの良い職場環境を作り、職員の離職を防止して人材の定着と育成に努めます。
- ・介護実習等や外国人人材を積極的に受け入れ、介護のやりがいや魅力を体験してもらい、人材確保につなげます。
- ・新等級基準に応じた職員のスキルアップを行い、計画的な福祉人材育成を進めます。
- ・4S活動(整理・整頓・清掃・清潔)の実施と災害の防止に取り組みます。
- ・安定的な雇用確保、離職防止のため介護職員の休日日数を見直し、働きやすい職場環境を醸成します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・利用者の「脱水・低栄養の予防」「転倒への危険予測」「安全な環境整備」に重点を置いて、入院者を減らし目標稼働率を達成します。
- ・経営基盤の安定と事業継続を効果的かつ適正に行うために、計画的な収支管理をします。
- ・健全な経営を行うために財務状況の把握に努め、適正な職員配置と支出管理を行い財務基盤の安定を目指します。
- ・新規利用者の入所をスムーズに行うとともに、短期入所者を積極的に受け入れ目標稼働率(特養ショート合算99%)を達成します。
- ・令和6年度介護保険改定を踏まえ、新規加算を積極的に取得します。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		食器消毒保管庫	810	PC(×4)	600		
		見守りカメラ	1,096				
購入等合計	0	購入等合計	1,906	購入等合計	600	購入等合計	0

令和6(2024)年度 事業計画（認知症対応型老人共同生活援助事業）

施設名 **グループホーム かえで**

定員 **18** 名

【地域における施設ミッション】

昭島に住む高齢者が認知症になっても安心して暮らせるように、関係機関と連携しながら地域福祉の拠点施設としての役割を果たします。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
97.6%	95.5%	89.0%	97.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・自立支援の一つとして、利用者が主体的に生活することができるように、買い物・調理・洗濯・掃除などの家事活動の支援に積極的に取り組みます。
- ・利用者や家族が必要とする情報を適宜適切に提供するとともに、利用者や家族からの問い合わせ等に迅速かつ誠意を持って対応します。
- ・第三者評価の受審を通して常にサービスの改善・向上に努め、顧客満足への思いを念頭におき個別化対応に配慮したケアに努めます。
- ・新型コロナウイルス等への感染症対策を徹底して利用者の健康管理に努めます。

◆ 地域社会への取組み

- ・昭和郷高齢者複合施設全体の取組みとして、月1回さくらカフェを運営します。
- ・誰もが集えるカフェを創ります。
- ・地域の方への認知度を高め来場者増を目指します。
- ・地域共生社会の実現に向けて交流の場を設けます。
- ・行政ならびに関連機関事務所と連携して認知症への理解を深めるための取組みに参画します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・人材不足を解消するために、採用活動を最重要課題とします。
- ・時代の変化や多様なニーズに柔軟に対応できる専門職としてのスキルアップを図るために、OJTと並行して積極的にOFF-JTの機会を作ります。
- ・業務を見直し効果的なサービス提供と働きやすい職場づくりを目指します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・収入と支出のバランスのとれた財務基盤をつくり、安定した施設経営を目指します。
- ・目標とする施設利用率を達成するために退去等による空床期間の短縮化を図ります。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和6(2024)年度 事業計画（認知症対応型老人共同生活援助事業）

施設名 原町グループホーム

定員 18 名

【地域における施設ミッション】

地域の方の「新宿で暮らし続けたい」という願いを地域と共に支えます。新宿区の大切な社会資源として地域から必要とされる事業運営を目指します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
95.9%	87.8%	98.4%	98.5%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者一人ひとりの有する能力を活用して、自立した暮らしを送ることができるように支援します。
- ・認知症の方でも安心して生活できるよう、ICT等の活用をさらに進めます。
- ・家族、関係者と連携しながら利用者の暮らしを支援します。
- ・住み慣れた地域で暮らし続けるために、ボランティア等の様々な社会資源を活用した支援をします。
- ・福祉サービス第三者評価の受審を通してサービスの質の改善と向上に努めます。
- ・新型コロナウイルス感染症等への対応を徹底することにより、利用者の健康管理に努めます。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域との交流を通して愛される事業所を作ります。
- ・ボランティアを積極的に受け入れ、開かれた事業運営を目指します。
- ・施設見学や実習生等を積極的に受け入れます。
- ・利用者が住み慣れた地域で今後も暮らしていけるように自治体や地域と連携・協力体制を構築します。
- ・原町拠点群として連携しながらシームレスなサービス提供体制を構築します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・事業所内外の各種研修を通して、専門職としての資質向上を図ります。
- ・職員間でのコミュニケーションを密に取り、チームでケアを行います。
- ・ICT等のツールを活用した業務効率化と負担軽減に取り組みます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・収入と支出のバランスのとれた財務基盤をつくり、安定した施設経営を目指します。
- ・目標とする施設利用率を達成するために退去等による空床期間の短縮化を図ります。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和6(2024)年度 事業計画（高齢者デイサービスセンター）

施設名 **フジ・デイサービスセンター**

定員 **25** 名(1日あたりの定員)

【地域における施設ミッション】

地域の方々が住み慣れた場所で安心して暮らしていくことができるように家族や行政、居宅介護支援事業所その他の福祉サービス機関と連携し、それぞれのニーズに応じたサービスを提供します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
60.5%	51.1%	54.0%	60.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

居宅介護支援事業所を中心に、家族と行政その他の福祉サービス事業者との連携を図りながら、その人らしい在宅生活を継続できるよう、きめ細やかなサービス提供に努めます。

◆ 地域社会への取組み

・地域福祉ネットワーク(主に通所部会)の活動に参加し、他事業所との交流を通して得られた知識や情報を利用者へのサービス内容の充実として還元します。
 ・地域のボランティアを積極的に受け入れることで、地域と利用者がつながる共生社会の構築を目指します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

・職員の資質向上のため、個々の職員のスキルに応じて学びの場を提供できるよう、研修への参加やeラーニングの活用を実践します。
 ・4S活動(整理・整頓・清掃・清潔)に取り組み、業務の効率化、バランスの取れた働き方の推進を図ります。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

安定した事業経営のため、目標稼働率の達成と計画的な支出に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和6(2024)年度 事業計画（認知症対応型高齢者デイサービスセンター）

施設名 東大和市ふれあいデイセンターひかり苑

定員 12 名(1日あたりの定員)

【地域における施設ミッション】

社会福祉法人としての責務を全うするため、地域の方々や利用者、家族に信頼される施設として、南苑庭の活用など、社会的役割を積極的に果たします。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
56.1%	49.5%	44.7%	55.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・法人の理念と高齢者支援系グループ方針を遵守し、業務を遂行します。
- ・利用者の人権を尊重し「親切」「丁寧」「誠実」をモットーに「個別ケア」に努め、自立した生活が送れるように支援します。ブネメソッドやボランティア参加アクティビティ等を活用し認知症状の緩和ケアを行います。
- ・個別機能訓練計画書に基づいた機能訓練を実施し、フレイル予防やADLの維持向上に努めます。
- ・リスクマネジメントの観点から利用者の安全・安心を守るために感染症対策や防災・BCPマニュアル、緊急時マニュアルを整備・活用します。
- ・ボランティアの受入れや外出行事の再開をすすめ、サービスの質の向上につなげます。

◆ 地域社会への取組み

- ・東村山市富士見町福祉施設連絡会と連携し、「富士見町あいさつ運動」に積極的に参加することで、地域の防犯防災に貢献します。また、東村山市通所サービス事業者連絡会、小平ボランティア担当者連絡会、運営推進会議等に参加・協力し必要な情報を得て利用者へのサービスにも反映していきます。
- ・地域に求められる(高齢者)福祉・介護サービスを続けていきます。
- ・地域包括ケアシステムを推進するため、地域の関係機関と連携を強化し、住み慣れた地域でいつまでも暮らせるように支援するとともに、行事への参加の案内や南庭の活用など感染症対策等を取りつつ積極的に地域と関わりを持ち、開かれた施設を目指します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・デイ会議やミーティング等職員間のコミュニケーションを積極的に図れる場を設け、職員が心身ともに健康で安心して働ける職場環境を目指します。
- ・実習生等を積極的に受け入れることで利用者の社会への関わりを広げ、豊かな生活の一助とするとともに、将来の福祉現場の人材確保につなげます。

◆ 財務基盤の強化に向けた取組み

コストの管理、削減や新規加算の取得に取り組み、市内近郊のケアマネージャーと連絡を密に取りつつ特養・ショートステイと連携し、安定した新規利用者の獲得により年間稼働率55%を達成し、健全な経営を行います。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和6(2024)年度 事業計画 (地域包括支援センター)

施設名 新宿区榎町高齢者総合相談センター

【地域における施設ミッション】

高齢者が住み慣れた地域で生活できるよう、「高齢者の何でも相談所」としての役割を果たします。

【重点項目】

◆ 施設目標1日平均利用者数

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
26.2名	23.0名	27.0名	28.0名

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・新型コロナウイルス感染症に注意しつつ、高齢者への支援を行います。
- ・認知症の高齢者に対し、認知症施策を活用して、早期に適切な医療・介護サービスにつながるよう支援します。
- ・地域の社会資源について、高齢者への支援に活用できるように連携します。

◆ 地域社会への取組み

- ・新型コロナウイルス感染症に配慮した新しい地域の活動(町内会・老人会等)をサポートします。
- ・認知症サポーター養成講座を実施し、地域の認知症への理解を促します。
- ・高齢者の生活を住民主体で支える体制を整備するため、多様なサービス提供主体と連携します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・感染症予防対策を通して、職場の衛生環境の維持向上を行います。
- ・自治体や関係機関の主催する研修に参加し、職員の育成に努めます。
- ・業務の見直し(チーム制等)を行い、ワークライフバランスを重視した職場環境の構築を目指します。
- ・社会福祉士や看護師等の実習生を積極的に受け入れ、次世代の人材育成に寄与します。

◆ 財務基盤の強化に向けた取組み

適切なコスト管理を行い、健全な経営環境を維持します。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和6(2024)年度 事業計画 (地域包括支援センター)

施設名 昭島市中部地域包括支援センターあいぽっく

【地域における施設ミッション】

高齢者が住みなれた地域で生活できるように、「自助・互助・共助・公助」の視点を大切に地域包括ケア実現に向けて事業を展開していきます。

【重点項目】

◆ 施設目標1日平均利用者数

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
20.1名	23.7名	25.0名	26.0名

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・感染症予防の徹底した取組みを引き続き行います。
- ・生活機能の低下を予防して要介護の状態にならないように、自立支援の視点を大切にしながら、介護予防のケアマネジメントを行います。
- ・市内の他の地域包括支援センターと連携しながら家族介護者教室を開催し、介護者の支援を行います。
- ・第9期昭島市介護保険事業計画に沿って昭島市や各地域包括支援センターと協働し、地域包括ケアシステムの推進に向けて、医療・介護・予防・生活支援・住まい等の関係者と顔の見える関係づくりに取り組めます。

◆ 地域社会への取組み

- ・市民に向けた情報提供に積極的に努め、地域包括支援センターの役割が周知・活用されるよう取り組みます。
- ・地域ケア会議において、新型コロナウイルス等感染予防対策を行いながら、個別ケースの課題を地域関係者、関係機関等と共有することで、地域課題を抽出し、解決につなげます。
- ・昭島市の見守りネットワークの中心機関として、医療機関やインフォーマルサービス等も含めた地域のネットワーク構築に取り組むことで、顔の見える関係を構築します。
- ・感染症対策に留意しながら、認知症サポーター養成講座等を通じて、町会等での認知症講座を開催することで、住民の認知症に対する理解を深めるなど、普及啓発活動を行います。
- ・個別ケースの状況に応じて、行政、地域(民生委員等)、昭島地域ネットワーク等との協力、連携を図ります。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・包括的・継続的ケアマネジメントに努め、高齢者が地域で自分らしい生活を安心して行えるよう、地域のケアマネジャーや他職種とも連携を深めます。
- ・介護保険事業所に対して、虐待に関する講義や疾患に関する講義を行い、スキルアップに努めます。
- ・福祉系大学等で社会福祉士を目指す学生の実習を受け入れ人材育成の一端を担います。
- ・感染症予防の観点から、アルコール等を使用した事業所内の定時の拭き掃除、換気を引き続き行います。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

サービス向上とコスト削減を両立していけるようバランス意識を持った経営を心掛けます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和6(2024)年度 事業計画（小規模多機能型居宅介護事業）

施設名 原町小規模多機能居宅介護センター

定員 25 名

【地域における施設ミッション】

要支援、要介護状態になっても、住み慣れた地域で生活を継続できるよう支援します。地域の認知症高齢者の生活を支える社会資源としての役割を果たします。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
93.7%	83.7%	89.8%	92.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・小規模多機能型居宅介護の柔軟なサービス形態を発揮し、認知症になっても可能な限り在宅での暮らしができるようサポートします。
- ・感染症並びに災害時における事業継続計画(BCP)をもとに職員の研修および訓練を行います。

◆ 地域社会への取組み

- ・利用者が住み慣れた地域で在宅生活を継続させるため、課題とニーズを調整しながらの多様なサービス提供を目指します。
- ・地域包括支援センターをはじめ関係機関および多職種と連携して、感染症予防に留意しながら、地域住民や地元サッカークラブチームとの交流を図ります。
- ・地域から信頼される事業所を目指し、声掛けなど、顔の見える人間関係の構築に努めます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・義務化されるBCP策定、感染症対策、高齢者虐待防止等その他の委員会運営をもれなく行います。
- ・職員各々のスキルアップ、福祉の専門職としての資質の向上のための研修を充実させます。
- ・web研修、リモート会議を積極的に活用し業務効率化を推進します。
- ・ICTを活用することで記録業務を見直し、ペーパーレス化に取り組みます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・収入と支出のバランスのとれた財務基盤をつくり、安定した施設経営を目指します。
- ・稼働率(登録人数)と介護度のバランスを見定めサービスを提供します。
- ・業務効率化を図り、コスト削減に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和6(2024)年度 事業計画（小規模多機能型居宅介護事業）

施設名 昭和郷小規模多機能居宅介護センター

定員 25 名

【地域における施設ミッション】

要支援、要介護状態になっても、住み慣れた地域で生活を継続できるよう支援します。地域の認知症高齢者の生活を支える社会資源としての役割を果たします。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
87.3%	90.7%	87.0%	92.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・住み慣れた地域・自宅で尊厳を持って暮らせるように支援します。
- ・利用者、家族一人ひとりの生活スタイルに沿って、在宅生活継続のための多様なサービスを一体的・連続的に提供します。
- ・運営推進会議等を活用し、意見を取り入れながら開かれた事業を運営します。
- ・地域の医療機関等の多職種と連携しサービスを提供します。
- ・リスクマネジメントの観点から利用者の安全・安心を守るためにも、感染症対策や防災マニュアル、災害時・感染時における事業継続計画(BCP)の随時見直しを行います。

◆ 地域社会への取組み

昭和郷高齢者複合施設全体の取組みとして、月1回さくらカフェを運営します。

- ・誰もが集えるカフェを創ります。
- ・地域の方への認知度を高め来場者増を目指します。
- ・地域共生社会の実現に向けて交流の場を設けます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・人材不足を解消するために、採用活動を重要課題とします。
- ・スキルアップのための研修(複合施設合同研修を含む)を実施します。
- ・利用者の様々な状況に対応し伴走支援していくためにも職員の質の向上を目指し、認知症やサービスマナー、看取り等に対する理解を深めます。
- ・在宅支援についての機微を理解し、訪問・通い・泊りのケアを提供できる職員を各々の持ち味を生かしながら育成します。
- ・実習生等を積極的に受け入れ将来の福祉現場の人材確保につなげます。
- ・職場環境を改善し、離職率を減らします。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・適正な職員配置に努めます。
- ・行政・地域包括支援センター・病院・居宅支援事業所等から紹介が受けられる関係を作ります。
- ・業務効率化を図り、コスト削減に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和6(2024)年度 事業計画（定期巡回・随時対応型訪問介護看護等）

施設名 昭和郷訪問介護センター

【地域における施設ミッション】

自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、定期的な巡回や随時通報への対応など、心身の状況に応じて、24時間365日必要なサービスを必要なタイミングで柔軟に提供します。

【重点項目】

◆ 施設目標1日平均利用者数(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
19.9名	20.3名	19.5名	20.0名

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・居宅サービス計画を基に、サービス提供責任者、サービス担当責任者が計画書を個々に作成し支援します。計画書は随時見直し、柔軟で適切な支援につなげます。
- ・要支援者の生活を支えるための善きパートナーとなるべく、日常よりの確かな相談及び情報提供を行うことで緊密で良好な関係を保てるように努めます。
- ・新型コロナウイルス感染症の流行によって生まれた新しい価値観や環境変化に合わせてながら、利用者の健康と職員の健康を守っていきます。
- ・介護医療連携推進会議を定期的開催して透明性の確保を図ります。
- ・リスクマネジメントの観点から利用者の安全・安心を守るためにも、感染症対応や防災マニュアル、災害時における事業継続計画(BCP)の随時見直しを行います。

◆ 地域社会への取組み

昭和郷高齢者複合施設全体の取組みとして、月1回さくらカフェを運営します。

- ・誰もが集えるカフェを創ります。
- ・地域の方への認知度を高め来場者増を目指します。
- ・地域共生社会の実現に向けて交流の場を設けます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・人材不足を解消するために、採用活動を重要課題とします。
- ・在宅介護の専門職として利用者サービスの対応力を持った職員を育成するために個別の研修計画に基づき、月1回の研修(複合施設合同研修を含む)を実施します。
- ・計画作成担当者及び計画作成責任者が調整力を身につけることでヘルパーをまとめ、より良いサービスにつなげるように能力の強化を図ります。
- ・個々の能力に合わせて十分な同行訪問などを行い、訪問介護の基礎の習得を通して人材育成に努めます。

◆ 財務基盤の強化に向けた取組み

- ・定期巡回を中心に、適切な人員配置及びサービス調整を行い、利用者獲得と安定経営を図ります。
- ・総合ケアマネジメント/サービス提供加算の算定を続け、安定した収益源とします。
- ・月間で定期巡回20件、夜間対応6件の登録を目指します。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和6(2024)年度 事業計画（サービス付き高齢者向け住宅）

施設名 さくらガーデン

定員 49 室

【地域におけるミッション】

本人の意向を十分に尊重し、その人らしい暮らしを地域の中で続けることができるよう質の高いサポート・支援を提供します。また関係諸機関等とも連携し地域包括ケアシステムの構築に努めます。

【重点項目】

◆ 目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
93.2%	96.8%	96.5%	96.0%

◆ サービスの充実

- ・入居者面談を通じニーズの把握に努め、快適な生活を支援します。
- ・地域資源、催し物等の情報を提供し、入居者の社会参加を手伝います。
- ・リスクマネジメントの観点から入居者の安全・安心を守るためにも、感染症対応方法や防災マニュアル、災害時における事業継続計画(BCP)の随時見直しを行います。
- ・関係機関を中心に営業活動を行い、当住宅の周知を図り、地域ケアの一端を担えるよう努めます。
- ・昭和郷訪問介護センターと更なる連携を図り、安心した生活が提供できる体制づくりに取り組みます。

◆ 地域社会への取組み

- 昭和郷高齢者複合施設全体の取組みとして、月1回さくらカフェを運営します。
- ・誰もが集えるカフェを創ります。
 - ・地域の方への認知度を高め来場者増を目指します。
 - ・地域共生社会の実現に向けて交流の場を設けます。

◆ 人材の育成と職場環境の整備

- ・入居者が気持ちよく生活できるように、細やかな配慮のできる職員を育成します。
- ・サービス付き高齢者向け住宅協会の実施する研修を通して、サービスの質の向上、現職員のレベルアップを目指します。
- ・厨房スタッフの情報交換、衛生知識の向上の機会を適宜提供し、働きやすい職場を作ります。

◆ 財務基盤の強化に向けた取組み

- ・円滑な入居支援を実施します。
- ・コスト削減のために支出状況の見直しを行います。
- ・経営の安定化を図るため、適正な料金改定を行います。
- ・昭和郷訪問介護センターとの連携体制の強化を進めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

3. 障害者支援系施設の経営

障害者支援施設、心身障害者福祉ホーム、心身障害者福祉センター、共同生活援助事業並びに特定相談支援事業等を経営します。

1 グループ方針

・法人の中長期計画(第3期)に基づき、事業の安定と発展を目指した経営基盤の確立を目指します。また、報酬改定等に伴う障害施策の変更等に迅速に対応した事業経営にあたります。
・令和7年度開所予定の杉並区久我山の都有地活用による地域福祉インフラ整備事業運営に向け、秋季に開設準備室を設置し、区民の要望に応えられるよう計画検討を進めます。
・多様なニーズに応えるための専門性を備え、かつ倫理意識の高い職員集団を目指します。
・各事業所が地域の社会資源の一つとしてその機能を十分に発揮し、また地域との連携強化を図り、誰もがその人らしく生活できる地域共生社会の実現に向けて取り組みます。
・感染症が発生した場合においても安定して事業を継続するために、新型コロナウイルス感染症防止対策及び、グループ内の協力体制を継続し、収束に向けて迅速な対応が講じられる体制を整備します。

2 グループ目標

◆ 利用者支援サービスの充実

・虐待防止、身体拘束等の適正化に向けて、様々な研修の実施や地域の関係機関との連携を図りながら、職員の支援力の向上に努めるとともに、倫理意識を高めます。
・サービス等利用計画と個別支援計画との連動性を強化し、利用者一人ひとりの意思決定が尊重され、豊かな暮らしへとつながるよう質の高いサービスを提供します。
・感染症が発生した場合でも家族・行政等との情報共有・連携を図りながら、できる限り通常通りの運営を行い、安心して利用できるように、また地域生活が維持できるように努めます。
・IT・介護機器等について、グループ間で情報共有等を行い、支援の向上に努めます。
・事業継続計画(BCP)の見直し等を行い、災害時など有事における防災対策、防犯体制、感染症対策などの強化に努めます。

◆ 地域社会への取組み

・地域の要望に応じられるよう、各事業所における機能(特徴)を高めるとともに、施設機能を活かした地域ニーズ(暮らし)を支援します。
・地域との交流行事(お祭りや講演会等)を通し、障害者への理解推進を図り、社会に根差した施設を目指します。開催にあたっては、感染症対策を行いながら安全な実施に努めます。
・地域の特性や施設の特徴を生かした社会貢献事業を行います。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

・多様な事業運営に対応できるよう計画的な人材育成を進め、人材確保と定着を図ります。
・OJTを中心に、法人研修やグループ内研修、外部研修、キャリアアップ制度などを通して、支援力の向上と福祉従事者としての誇りが持てるようにします。また働きやすい職場風土・環境づくりに努めます。
・グループホーム利用者の生活が豊かで、尊厳が保たれるよう、世話人等の資質の向上、バックアップ体制の強化を図ります。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

・3年に一度の報酬改定年度であることから、新規施策、制度変更等、国や都の動向を適切に捉え、即応した対応を行います。
・社会情勢等により、人件費を含むすべてにおいて物価が高騰し、運営費を圧迫しています。適切な予算の作成と執行を行い、さらに日々の節約も心がけ、安定した運営となるよう努めます。
・関係機関等と連携を図りながら利用者の定員を確保し、稼働率の向上を図ります。

1 障害者支援施設

障害者総合支援法の多機能型施設として障害のある方への施設入所支援・生活介護(旧法:更生)・就労移行支援・就労継続支援B(旧法:授産)・短期入所事業を行います。

2 心身障害者福祉ホーム

豊島区内の心身障害者で特定の要件を満たす方へ、日常生活における援助等を行い自立生活を助長します。また、併せて緊急一時保護も行います。

3 心身障害者福祉センター

東久留米市内の居宅で生活している15歳以上の心身障害者の方が、住みなれた地域社会の中で安心して生活が送れるように各種サービスを提供し、自立助長及び介護にあたる家族の福祉向上を図ります。

4 共同生活援助(グループホーム)

障害のある方に対して、主に夜間において、共同生活を営む住居で相談、入浴、排泄または食事の介護、その他の日常生活上の援助を行います。

5 特定相談支援事業

障害のある方が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービス等の利用計画の作成(計画相談支援)を行います。自立した生活を支え、障害者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けた、支援を行います。

令和6(2024)年度 事業計画 (障害者支援施設)

施設名	さやま園		
定員	96	名	
			短期入所専用
			4
			施設入所支援
			96
			特定相談支援事業

【地域における施設ミッション】

行政や他事業所と連携し、入所者の生活の充実及び地域移行の促進を図り、知的障害者の福祉の中核的拠点としての役割を果たします。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率(施設入所支援)

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
98.6%	98.0%	98.3%	96.8%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・今年度は新型コロナウイルス感染症の制限を徐々に緩和した活動をしていきます。どのグループも外出できるように計画的に取り組めます。また定期的に帰宅ができるように努めます。
- ・高齢化及び重度化する利用者を中心として、全員が健康で生き生きと生活できるよう、PTとの連携、協力を図りながらリハビリに取り組めます。また、介助器具等を導入し、負担軽減を図ります。利用者によっては療養型病院や高齢者施設への移行も視野に入れて、家族や行政、主治医、高齢グループと連携します。
- ・引き続き新型コロナウイルス感染症防止対策を継続し、安全な生活の提供に努めます。昨年度同様感染者が出た場合には、行政や法人、障害グループ間との連携・協力体制により、早期の収束に向けて取り組めます。
- ・南棟の男性利用者の増加を検討します。
- ・地域移行が可能な利用者に対して、自己決定に基づいて主体的生活となるよう、家族・行政・グループホームと連携し自立に向けた支援を行います。

◆ 地域社会への取り組み

- ・以前のように地域の方も受け入れた行事や催し等を行い、地域に溶け込んだ施設を目指します。
- ・ボランティアの受け入れを積極的に行います。
- ・中間的就労者を対象に、一般就労へ向けて働くための体験の場の提供を継続します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・虐待防止研修や介護技術の習得講習、グループワークやケースカンファレンス等の様々な研修に参加し、職員一人ひとりの意識とスキルの向上を図り、組織全体の底上げを目指します。
- ・エルダー制度による人材教育や階層別研修、グループ交換研修、施設交流研修を通じて人材育成に努めます。
- ・労働時間を8時間にしたことでの、更なる業務内容の見直し、また職員の意識改革による仕事の効率性を図り、働きやすい職場環境や風土を整えます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取り組み

- ・新型コロナウイルス感染症の影響や報酬改定などによる収支状況を踏まえ、安定運営を図ります。
- ・職員を東京都の研修に積極的に参加させることで、強度行動障害等の加算の増加取得を目指します。
- ・適切な計画と予算を執行し、健全な経営を目指します。

【施設・設備整備計画】

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
中庭整備	1,672	南棟汚水ポンプ改修	4,813	南棟エアコン交換	1,760		
見守りカメラ増設	980	本棟2F汚物処理場改修	800	ノートPC(×24)	4,831		
BCP作成サポート	528	盛付け棚・調味料棚	783				
配膳棚・温蔵庫	1,339						
自火報受信機修繕	755						
南棟配膳シャッター	517						
購入等合計	5,791	購入等合計	6,396	購入等合計	6,591	購入等合計	0

(千円)

令和6(2024)年度 事業計画（障害者福祉サービス事業）

施設名	小茂根福祉園		
定員	生活介護	40	名(通所)
	就労継続支援B	30	名(通所)
	計	70	名

【地域における施設ミッション】

住み慣れた地域での「私らしい暮らし」を支援します。地域住民と協働し住みやすく優しいまちづくりに貢献します。そして「誰にとっても魅力ある施設」を目指して職員一同取り組みます。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
77.5%	75.2%	75.6%	78.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・感染症防止対策を継続し、いつでも安心して利用できる施設整備を含めた事業の継続を図ります。
- ・虐待防止及び不適切な支援の根絶を目指します。
- ・個別支援計画に基づき、利用者の意思決定を尊重した支援を行います。また、長期欠席者には関係機関と連携し個別ニーズに沿った支援に努めます。
- ・飲食店営業許可及び菓子製造許可を取得し利用者の更なる活躍の場の拡充に取り組みます。
- ・自主生産品(KOMONEST)・アート活動・販売等一般企業と連携した様々な取組みを創意工夫し、工賃アップにつなげます。
- ・事業継続計画(BCP)の再確認を行い、災害時に即応できる防災対策、防犯体制の充実、強化に努めます。

◆ 地域社会への取組み

- ・近隣施設や関係機関、各種団体・一般企業と交流を深めながら情報発信力を高め、地域共生社会の実現に向けて協働します。
- ・ボランティアを受け入れ、地域の方々から施設を理解していただき、地域に根差した施設づくりに取り組みます。
- ・板橋区社会福祉法人施設連絡会、東京都社会福祉協議会通所施設分科会、東京都発達障害者支援協会等に参画して地域ニーズに応える活動や社会貢献に取り組みます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・専門性と倫理観の高い職員育成を目指し、園内の職員交換研修やオンライン研修等を活用して学びの機会を確保し、業務分掌の適正化・効率化に努めチーム小茂根として事業運営に取り組みます。
- ・SDGsの目標に照らして、福祉事業と今後の運営のあり方、誰一人置き去りにしない社会の実現に向けた支援のあり方を考えていきます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・板橋区の今後の区立福祉園のあり方について、区の方針に沿って、家族や所管課・法人本部と密に連携します。
- ・職員一人ひとりが施設の収支に関して省エネとコスト管理の意識を持ち、費用対効果を発揮して適正かつ効率的な経費の執行に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
給水湯配管更新 (板橋区実施)	17,303	2F廊下壁面等更新 1F埋込照明設備更新	1,200 1,298	2F埋込照明設備更新	1,210	直付照明設備更新	1,265
購入等合計	17,303	購入等合計	2,498	購入等合計	1,210	購入等合計	1,265

令和6(2024)年度 事業計画（障害者福祉サービス事業）

施設名	立川福祉作業所		
定員	就労移行	6	名(通所)
	生活介護	30	名(通所)
	就労継続支援B	44	名(通所)
	計	80	名

特定相談支援事業

【地域における施設ミッション】

通所施設の役割として、社会参加の機会と経済的な活動を実現するための働く場を提供します。関係機関と協働し地域に暮らす障害者ニーズに寄与するとともに、利用者の地域生活を支えます。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
87.1%	87.4%	87.0%	86.5%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・経済的な自立につながる働く場と利用者の自己肯定感・有用感が高まるような活躍の場を提供し、利用者満足度の向上に取り組みます。
- ・利用者の最善の利益を考え作成した個別支援計画に基づき、利用者一人ひとりが思い描く自己実現に取り組みます。

◆ 地域社会への取組み

- ・立川市内の自立支援協議会などをはじめとする地域ネットワークに参加し、一社会資源として機能することで地域に暮らす障害者ニーズの解決に向けて取り組みます。
- ・地域にあるパン屋BAKUBAKUの運営を行います。ロス/パンを有効活用した地域ニーズの充足と食品ロスの軽減に取り組みます。
- ・立川市内のプロスポーツ企業とのパートナーシップに基づく作業受注やスポーツイベントへの参画を通じ、障害者の社会参加の機会を作り、障害者への理解を促進します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・職員が互いに敬意を持ち、ハラスメントのない安心して働ける職場環境を整えます。
- ・施設の目的と目標を共有し協働する、エンゲージメントの高い職員集団を目指します。
- ・資格取得の励行と計画的な研修参加により、専門性の向上とキャリア形成を目指します。
- ・ワークライフバランスの実現により、長く働きやすい職場環境を整えます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・特別支援学校への定期的な巡回や、「計画相談たちふく」を介して利用者の積極的かつ継続的な充足に取り組みます。
- ・定員を超えて利用者を受け入れることで、安定的な収入に結びつけます。
- ・稼働率の向上と障害支援区分の適切な評価の取組みにより施設収入の増額に取り組みます。

【施設・設備整備計画】

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		PC(×10)	1,518				
購入等合計	0	購入等合計	1,518	購入等合計	0	購入等合計	0

(千円)

令和6(2024)年度 事業計画（障害者福祉サービス事業）

施設名	東村山生活実習所					
定員	生活介護	30	名(通所)	短期入所専用	2	名
	就労継続支援B	10	名(通所)			
	計	40	名			

【地域における施設ミッション】

多様な価値観の中で、地域との連携や関係性を深め、地域から必要とされる魅力ある施設を目指します。障害のある方が、人としての尊厳・存在意義を感じながら地域生活が送れるように貢献します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
97.2%	91.9%	96.3%	96.4%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・OJTを中心として、職員の倫理意識と専門性の向上を図り、虐待防止・身体拘束・合理的配慮等の適正化に努めます。
- ・個別支援計画の充実と意思決定支援により、利用者の自己表現・自己実現に向けて取り組みます。
- ・チームアプローチによる支援を行うことで、より質の高いサービスを提供します。

◆ 地域社会への取組み

- ・様々な活動を通じて地域と関わりを深め、利用者の社会参加を促進します。
- ・自立支援協議会など地域ネットワークに参画し、障害者の高齢化や緊急時の対応など地域課題の解決に向けて協働し、地域福祉の増進と地域共生社会の実現に向けて寄与します。
- ・特別支援学校の卒業後の進路先として、また、その都度地域の利用ニーズに対応した実習等を受け入れます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・エルダー制度、OJT、OFF-JT、グループワークなど様々な研修に参加し、職員一人ひとりの専門性の向上、質の高いサービス提供に努めます。さらに組織全体としてのエンゲージメントの向上を図ります。
- ・キャリアデザインに基づく人材育成に努めます。
- ・ワークライフバランスの実現により働きやすい職場環境を整備します。
- ・業務の効率化や介護負担の軽減を目的に、ICTの活用や福祉用具等の導入を検討します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・今年度は、3年に一度の報酬改正・制度改正となっているため、改正内容等に沿った対応を行います。
- ・安定した施設運営を行うため、定員超過での利用者受入れを実施し、安定的な利用率を維持します。
- ・様々な媒体・機会を介して施設の情報(魅力)を発信し、相談支援事業所・特別支援学校等との関係性・信頼性を深めながら新規利用者の確保につなげます。
- ・物価高騰による影響を最小限に抑え、省エネ、コスト削減に努めた施設運営に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		非常放送設備	1,881	PC(×5)	1,001		
		ドウ・コンディショナー (パン生地発酵器)	1,614				
購入等合計	0	購入等合計	3,495	購入等合計	1,001	購入等合計	0

令和6(2024)年度 事業計画 (心身障害者福祉ホーム)

施設名 さくらんぼ

主な事業	長期自立援護	特定相談支援事業
	短期自立訓練	移動支援事業
	緊急一時保護	自立生活援助事業
	レスパイト	

【地域における施設ミッション】

親なき後を見据え、「としま生活」を支えます。24時間365日サービスを提供し住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう支援します。

【重点項目】

◆ 施設目標1日平均利用者数

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
7.7名	7.7名	7.6名	8.0名

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・地域生活支援拠点事業所として登録し、緊急時の相談体制を整えます。また地域生活を継続できるよう緊急即応できる職員体制を整え、区立緊急一時保護施設としての使命を果たします。
- ・感染症対策及び災害対策に関する事業継続計画(BCP)の適宜見直しを図り、利用者の安全・安心につなげます。また福祉救援センターとして区と協定を結び、障害者の避難受け入れ体制を整備します。
- ・利用者の多様な生活状況や障害特性を踏まえ、個々の実情に応じた意思決定支援を行うとともに、社会参加の機会や選択の機会を提供し、自己実現に向けて支援します。
- ・令和7年度の大規模改修に向けて、区と連携して利用者・家族に丁寧に説明しながら、仮施設への移転準備を進めます。また改修後の事業方針について豊島区との協議を進め、区民のニーズに応えるよう努めます。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域公益活動としての「福祉なんでも相談窓口」を継続します。近隣福祉施設と連携し生活困窮者支援等、地域福祉力の向上を目指し取り組みます。
- ・豊島区地域支援協議会や東京都グループホーム運営協議会等様々な協議体に参画し、協働して障害福祉事業の発展に貢献できるよう取り組みます。
- ・現施設で最後となるさくらんぼ祭を開催し、地域の皆様に喜んで頂ける行事となるよう創意工夫をして取り組みます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・職員一人ひとりの希望やキャリアに応じた研修計画による計画的な人材育成を図ります。
- ・職員主体による内部研修(OJT含む)を引き続き充実させ、活気ある職場風土の醸成と、非常勤職員を含む職員全員のスキルアップ、利用者の虐待防止・権利擁護の推進に取り組みます。
- ・4S活動(整理・整頓・清掃・清潔)とKY活動(危険予知)に取り組み、環境整備及び事故防止に努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・大規模改修が影響し令和7年9月まで前指定管理期間の延長となりました。そのため令和4年度委託費と同額となり、非常に厳しい収支計画となることから、徹底した省エネ、省資源などコスト削減に取り組み、物価高騰下でも対応できるよう効率的な管理運営に努めます。
- ・次期指定管理者の指定を受け、継続して安定的な事業運営ができるよう努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)							
第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和6(2024)年度 事業計画 (心身障害者福祉センター)

施設名 **さいわい福祉センター**

主な事業	地域活動支援センター事業	生活介護
	都型ショートステイ事業(宿泊)	就労移行支援事業
	日中一時支援事業	居宅介護事業
	就労支援事業	特定相談支援事業

【地域における施設ミッション】

東久留米市における障害者福祉の中核的な役割を担い、障害のある人が住み慣れた地域で必要な時に必要なサービスを利用しながら安心して暮らせるよう支援します。

【重点項目】

◆ 施設目標1日平均利用者数

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
17.2名	19.9名	17.7名	20.0名

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・地域の福祉支援拠点としていつでも相談できる体制を取り、必要なサービス提供や関係機関と連携し課題解決等に向けて切れ目なく支援します。
- ・利用者の尊厳と意思決定支援を大切に、専門性の向上と高い倫理観を持って支援します。
- ・介護機器やICT等を活用し、利用者への安全・安心な介護・支援や生活支援員の支援力向上、身体的負担の軽減、業務効率化に努めます。
- ・事業継続計画(BCP)の定期的な見直しを行い、防災、防犯、感染症等の対策強化に努めます。

◆ 地域社会への取組み

- ・市内で開催される福祉祭りやイベント等の事務局として円滑な運営に努め、地域とのつながりや福祉関係機関との交流を一層深められるよう取り組みます。
- ・地域自立支援協議会や社会福祉法人連絡会など市内の協議会等に参画することで地域課題やニーズを把握し、関係機関と連携・協働して解決に取り組みます。
- ・近隣の学校などの教育機関と連携し障害に関する啓発活動や社会貢献に努めます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・施設内外の研修を全体・個別と計画的に行い、介護・支援技術の向上を目指します。
- ・法人内施設や市内・近隣福祉施設にて交流研修や見学などの機会を設け知見を広げることで、柔軟で多様な考え方を身につけ、支援力向上に努めます。
- ・実習生の積極的な受入れを行い、将来の福祉人材育成に努めます。またヘルパーの育成、確保に努めます。
- ・職員が安心して働ける風通しの良い職場環境を作り、チーム力の向上と人事育成・定着に努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・物価高騰対策として省エネ、省資源、再利用などコスト削減に取り組み、適切な予算執行に努めます。
- ・施設の老朽化や機材等の経年劣化による修繕については適宜対応するとともに、中・大規模工事が必要となれば障害福祉課と協議しながら進めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和6(2024)年度 事業計画 (共同生活援助)

知的障害者グループホーム

		定員	
施設名	アミニティ富士見	6	名
	グリーンハイツ	6	名
	フレンズ・モエ	4	名
	パル	6	名
	それいゆ小川	7	名
	ファーム竹丘 1	6	名
	ファーム竹丘 2	7	名
	風のね	10	名
(上記8ヶ所のバックアップ施設:さやま園)		52	名
施設名	レチオンス巣鴨	4	名
	はなみずき	4	名
	ユーカリ	4	名
(上記3ヶ所のバックアップ施設:さくらんぼ)		12	名
施設名	夢オハナ	6	名
	結オハナ	6	名
(上記2ヶ所のバックアップ施設:立川福祉作業所)		12	名

【地域における施設ミッション】

一人ひとりの豊かな地域生活を支援します。

【重点項目】

◆ 利用者支援サービスの充実

・令和7年4月の杉並区久我山の2ユニット10名の新規グループホーム開設に向けて準備を進めます。
 ・意思決定支援・合理的配慮に基づき、利用者の意向を尊重した個別支援計画を作成します。また家庭的な雰囲気大切に、和やかで安定した生活が送れるよう支援します。
 ・高齢化や精神的課題など多様化するニーズに対し、様々な社会資源を有効活用しながら豊かな生活が送れるよう支援します。
 ・事業継続計画(BCP)の見直し等を行い、感染症及び災害時に即応できる体制を作ります。定期的に訓練を実施し利用者自身の意識を高めます。

◆ 地域社会への取組み

・関係機関や近隣・地域との関係を深め、利用者の社会参加と自立促進を目指します。
 ・地域の祭やボランティア活動に参加し、地域社会の一員として貢献します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

・虐待防止、合理的配慮、意思決定支援等、利用者の権利擁護に資する外部研修への参加を促進し、世話人全体の支援力向上を目指します。
 ・他法人(株式会社含む)が運営する様々なグループホームの見学・意見交換等、情報収集を行い、社会福祉法人が運営するグループホームのあり方を検討します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

・報酬改定や都加算見直しによる収益への影響に注視し、安定的に経営ができるよう取り組みます。
 ・物価高騰対策に関する補助金等の活用や、生活に大きく影響の出ない範囲での省エネ、省資源等節約に努め、日常生活の維持に努めます。
 ・杉並区久我山のグループホーム開設に向けて、計画的な受け入れ態勢と職員配置を検討し準備を進めます。

4. 児童・女性支援系施設の経営

母子生活支援施設、児童養護施設、女性自立支援施設、児童厚生施設を経営します。

1 グループ方針

- ・社会福祉法人としての責務を果たすため、法人の中長期計画の方針に沿って、グループ運営及び各事業所の運営を行います。
- ・利用者の人権や尊厳を守ります。
- ・個別支援計画に基づいて自立を支援します。
- ・安全・安心で快適な生活環境を提供します。
- ・関係機関と連携強化を図り、地域公益活動を進めます。
- ・職員の専門性と資質向上に努めます。

2 グループ目標

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者が安心できる生活環境の中で心のケアを行い、自尊心を高め自己決定ができるよう支援に努めます。
- ・利用者一人ひとりの自立支援は、本人の意向を尊重した自立支援計画に基づき、関係機関と適切に連携します。
- ・防犯防災及び感染防止含む施設内外の非常災害に備え安全計画を策定し、定期的な研修と訓練に取り組みます。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域の子どもたちへ居場所を提供するとともに、施設行事への招待や遊びを通じて健全な育成支援に努めます。
- ・グループ事業として10年目の同援こども学習室「ラ・スク」に取り組みます。
- ・地域社会資源を開拓し連携することで、地域の公益活動につなげます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・キャリアパスに基づく個別育成計画に沿った職員の育成に取り組みます。また、各種研修参加により専門性を向上し、利用者対応力を高めます。
- ・職員相互のピアスーパービジョンで専門スキルと資質の向上に努めながら、働きやすい職場環境を作ります。
- ・施設実習の学生を積極的に受け入れて当法人の魅力をアピールし、人材確保につなげます。
- ・ハラスメントのない働きやすい職場づくりに努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・サンライズ武蔵野は、広域利用の内規を区と作成し受け入れを増やします。
- ・サンライズ万世は、様々な課題を持つ利用者を受け入れ、利用率向上に努めます。
- ・双葉園は、新規グループホーム2園の立ち上げと本園の機能転換に向けた計画策定に取り組みます。
- ・いこいの家は、女性支援新法のもと女性自立支援施設に衣替えし、新たなニーズに沿った事業に積極的に取り組みます。

1 母子生活支援施設

18歳未満の子どもを養育している母子家庭等の女性が、子どもと一緒に利用できる施設です。利用者の心身と生活を安定するための相談・援助を進めながら、自立を支援します。

2 児童養護施設

乳児を除いて、保護者のいない児童、虐待されている児童、その他環境上養護を要する児童を養護し、あわせてその自立を支援します。

3 女性自立支援施設

性暴力やDV被害者等、困難な問題を抱えた女性への支援(心身の健康の回復のための精神的・医療的支援、また食を通じた健康増進管理、就労支援などの自立促進)を入所時のみならず退所後も継続し、安全・安心な生活を見守ります。

4 児童厚生施設

児童に健全な遊びの場を提供し、健康を増進して豊かな情操を育てるための児童センターとして運営します。

令和6(2024)年度 事業計画（母子生活支援施設）

施設名	サンライズ武蔵野		
定員	20	世帯	緊急一時保護
			1
			世帯

【施設ミッション】

母子の「こころ」を支え、安全で安心できる環境を提供し、自立に向けて支援します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
56.4%	83.6%	82.0%	90.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者の意思を尊重した自立支援計画を策定し、関係機関と連携して自立を支援します。
- ・広域の利用者には、措置元、杉並区、施設が連携して利用者の安全・安心な生活を提供します。
- ・学童一人ひとりの課題に合わせた支援を行い、生き生きとした日常を送り、将来の目標に向かって進めるようきめ細やかな支援を提供します。
- ・利用者の自立を支援するため、補助保育を充実させます。
- ・防災防災および感染症防止を含む施設内外の非常災害に備え安全計画を策定し、研修と訓練に取り組みます。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域のひとり親家庭に向けて電話相談事業を継続します。
- ・グループとして、同援こども学習室で、地域の学童の学習の機会や食事を提供します。
- ・アフターケアとして、退所した世帯への訪問等による状況確認、相談支援、退所先関係機関との連携により、退所後の生活を支援します。
- ・地域の事業所と協力して、地域住民向けのイベントに取り組みます。
- ・杉並区社会福祉協議会における地域公益活動に参画し、施設の資源を地域に提供します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・法人のキャリアパス制度に基づき研修に計画的に参加し、キャリアアップと職員の処遇改善に努めます。
- ・職場内研修として研修を実施し、職員が意欲的に業務に取り組める環境を整えます。
- ・実習生を受け入れ、将来の福祉人材の育成を図ります。
- ・ハラスメントの防止に努め、働きやすい職場環境を作ります。

◆ 財務基盤の強化に向けた取組み

- ・広域利用について杉並区と協議を進め、利用率の向上を図ります。
- ・措置費、サービス推進費の加算を取得し、収入の増加につなげます。
- ・コスト意識の徹底を図り、支出の削減を行います。
- ・月別予算により適正な執行管理を行います。
- ・大規模修繕に向けた準備を進めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)							
第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
居室エアコン(×10)	1,330	防犯カメラ	922			大規模修繕 (2カ年計画1%分)	1,303
購入等合計	1,330	購入等合計	922	購入等合計	0	購入等合計	1,303

令和6(2024)年度 事業計画 (母子生活支援施設)

施設名	サンライズ万世		
定員	20	世帯	緊急一時保護
			2 世帯

【施設ミッション】

母子の「こころ」を支え、安全で安心できる環境を提供し、自立に向けて支援します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
84.7%	96.4%	95.0%	100.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- 一人ひとりの意思や人権を尊重し、個別自立支援計画に基づく支援を提供します。
- 関係機関と連携を密にし、母子が適切に課題解決に向かうよう支援に努めます。
- 精神的ケアとアタッチメントを中核に据えた親子の関係を支援します。
- 子どもの健全育成を目指し、学習支援と生活支援に努めます。
- 防犯防災及び感染症防止含む非常災害に備え安全計画を策定し、研修や訓練を定期的に行います。

◆ 地域社会への取組み

- グループ事業として10年目の同援こども学習室「ラ・スク」に取り組みます。
- 地域無料心理相談事業を継続して取り組みます。
- アフターケアを計画的に進め、相談援助や社会資源の提供等により退所後の生活を支援します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- 相談援助や保育士養成校及び教員介護体験等の学生を積極的に受け入れ、人材の確保と育成を図るとともに、職員のスキル向上を目指します。
- キャリアパスに連動した職員個別の育成計画(研修計画含む)を作成し、人材育成に努めます。
- ハラスメントを生じさせない風通しの良い職場づくりに取り組みます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- 年間利用率100%を目標にして、財務基盤の強化を図ります。
- 様々な課題を持つ利用者を受け入れ、利用率向上に努めます。
- コスト意識の徹底を図り、支出の削減を行います。

【施設・設備整備計画】

(千円)							
第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		PC(×5)	978				
購入等合計	0	購入等合計	978	購入等合計	0	購入等合計	0

令和6(2024)年度 事業計画（児童養護施設）

施設名	双葉園		
定員	双葉園	38	名
	高嶋の家(地域小規模)	6	名
	くすのき(地域小規模)	6	名
	計	50	名

昭島市子どもトワイライトステイ事業 2 名

【施設ミッション】

双葉園初代施設長である高嶋巖が子どもの支援をする上で大切にしていた「子どもは本来すばらしいのだ」という理念の周知を図ります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
96.4%	93.9%	90.0%	100.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・職員の権利擁護意識を高め子どもアドボカシーの視点を常に持ち、子どもファーストに対応します。
- ・子どもや家庭のニーズ把握をしっかり行い、自立支援計画の充実を図ります。
- ・全ての支援に対し説明責任を果たせるように、根拠のある支援を行ないます。
- ・小規模化に向けて8月に新規グループホームを開設します。ケアの高度化、本体施設の高機能化・多機能化に向けて将来像の検討を行いビジョンの共有を図ります。
- ・防犯防災及び感染症に対する事業継続計画(BCP)の見直しと訓練を行い、利用者の安全・安心に取り組みます。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域の子育てを支援する一環として昭島市から受託している「トワイライト事業」を行います。
- ・卒園生をはじめ子どもたちが地域で安心して暮らせるように、関係機関、団体等と連携します。
- ・地域活動への参加を通し、社会的養護への理解を広めます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・職員個々の目標や施設での役割に合わせた研修機会を作り、知識や技術の向上を図ります。また、OJTチェックリストを活用し、専門性や支援の標準化を図ります。
- ・働くもの同士として、それぞれの立場を理解し尊重しあう中でより良い支援ができるように、またお互いをフォローし合えるように、職員が「相談できる」職場環境を作っていきます。
- ・ハラスメントを生じさせない、働きやすい職場環境を作ります。
- ・必要な時間に必要の人員が配置できるような勤務体制を検討します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・施設利用率を常に100%に保ち、措置費、サービス推進費、補助金等の収入の確保に努めます。
- ・予算執行を常に適切に行い、健全経営を行います。

【施設・設備整備計画】

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
放送機器入替	2,085	PC(×10) 新GH開設(×2)	1,835 16,000	防犯カメラ	715		
購入等合計	2,085	購入等合計	17,835	購入等合計	715	購入等合計	0

(千円)

令和6(2024)年度 事業計画 (女性自立支援施設)

施設名 自立ホーム いこい
 定員 40 名・世帯

【施設ミッション】

著しい困難に直面して心身共に傷付き疲弊した女性に、安心して生活できる環境を提供し、心身の健康の回復を図るための自立に向けた支援を行います。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
29.2%	37.0%	43.0%	49.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・令和6年4月1日より「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が根拠法となることを踏まえ、入所女性の傷付いた心身の健康の回復を図り、自立促進のため生活を支援します。
- ・専門職が協働しチームケアで質の高いサービスを提供します。
- ・女性の心と体を知り自分を守る力を養えるよう支援します。
- ・心身の健康を回復し継続していくことと、その基礎としての食の大切さを生活の基本に支援します。
- ・心の健康回復のために心理的支援を的確に実施するよう努めます。
- ・自立に向けて施設内事業を就労機会の創設促進と位置づけ、それぞれの個性を生かすよう取り組みます。(ex.菓子製造等)
- ・感染予防や防犯防災に備え、安全・安心な生活環境を提供します。
- ・同伴児童の適切な養育を支援します。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域のフードバンクや子ども食堂と連携し、福祉ニーズへの支援に努めます。
- ・地域公益事業である“同援無料こども学習室を、児童女性グループ事業として共同運営します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・法人内外の各種研修で専門スキルの取得と資質向上に努めます。
- ・社会福祉を学ぶ実習生を積極的に受入れ、様々な経験と学びを提供し、福祉人材の確保育成を図ります。
- ・ステークホルダーの理解を深めると共にハラスメント防止に努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・適切な職員配置により、新たな加算取得に努め収入増を図ります。
- ・各種補助金の取得を積極的に進めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
車輛	2,207						
購入等合計	2,207	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和6(2024)年度 事業計画（児童厚生施設）

施設名 昭島市児童センターぱれっと

【地域における施設ミッション】

子どもたちが安全・安心に過ごせる居場所を提供し、遊びや行事を通して健全な児童育成を目指します。

【重点項目】

◆ 施設目標1日平均利用者数

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
92.4名	103.4名	133.0名	151.0名

◆ 利用者支援サービスの充実

・当館利用者の安全・安心を第一に、子育て支援の拠点として、遊び文化の伝承と居場所の提供に努めます。特に施設利用の中核となる児童の育成のために、小学校高学年向けに遊びの時間を設けます。また行事等を通して、乳幼児や親同士のつながりを深めるための子育て仲間づくりを推進します。
 ・事業継続計画(BCP)の見直し等を行い、災害時に即応できる防災対策、防犯体制の充実、さらには感染症対策の強化に努めます。

◆ 地域社会への取組み

・新型コロナウイルス感染症防止対策を充実し、地域に向けて当館の安全性を発信します。
 ・保護者や子どもを中心とした施設集会室の貸し出し事業を実施し、広く地域の方々に利用してもらえるよう努めます。
 ・季節行事やボランティア等によるコンサートの実施を通して施設への理解につなげます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

職員研修の充実を図り、専門性を備えた人格の醸成を図るとともに、接遇マナーを高め地域で信頼される児童の居場所となるよう努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

昭島市との調整を図りながら適正な人件費を引き続き維持し、事業費、事務費を極力抑えた運営に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

5. 医療事業施設の経営

令和6(2024)年度 事業計画 (医療事業施設)

施設名 昭島病院

定床 199 床

【地域における施設ミッション】

地域に根差した病院を目指して、急性期から回復期まで、すべての患者の皆様には安全かつ質の高い医療を提供します。

【重点項目】

◆ 病床目標利用率

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
80.0%	77.8%	79.3%	86.4%

◆ 目標患者数(1日あたり平均)

入院	外来
172名	350名

◆ 救急車目標受入台数(1ヵ月あたり)

100 台

◆ 利用者支援サービスの充実

・リハビリテーション体制の充実
職員の増員、設備の充実を図り、365日リハビリテーション体制を強化します。

・感染防止対策の継続
新型コロナウイルス感染症に限らず、あらゆる感染症に対し、検温・手指消毒の徹底、飛沫防止対策、換気等に十分配慮した感染防止対策を継続します。

・患者数(入院・外来)の増へ向けた取組み
他院、地域診療所等と連携し、急性期、包括ケア、回復期など病院機能を活かした紹介患者受入増及び救急並びに時間外患者を最大限受け入れるよう努めます。
入院から退院、退院後の医療や生活までの相談及び支援をきめ細かく行います。

・患者サービスの向上
医療情報システムを活用し、待ち時間の短縮や患者情報一元化による患者サービスの充実及び医療安全の向上を目指します。
患者への声掛けを積極的に行い安心して受診できるよう努めます。

・医療保護施設としての役割
無料低額診療施設として積極的に相談を受け、必要な医療を受けやすい環境を提供します。

・特定健康診査
受診体制の効率化を行い待ち時間の短縮に努めます。

・訪問診療について
訪問診療を拡充するため、院内の医師および他医療機関との連携を図ります。

◆ 地域社会への取組み(地域医療の充実・地域包括ケアへの取組み)

・地域の医療需要の変化に対応できる地域包括ケアシステムの推進
昭島市、医師会等三師会、昭和郷施設及び近隣事業所と協働するため、担当者間の連携を十分に図ります。

・災害時対応の強化
東京都の「災害拠点連携病院」として、昭島市、昭島市医師会、昭和郷施設との災害対応の連携及び体制強化を図るとともに震災の教訓を生かした実践的な訓練を計画します。BCPの見直しを定期的に行ない災害発生に備えます。

◆ 医療人材の育成と職場環境の整備

・働き方改革の取組み
人員充足に努め、特に、医師・看護師の職場環境の整備及び働き方改革を進めます。

・業務に役立つ研修会の実施
身近な問題をテーマとし、より実践的なスキルの習得を目指します。

・職場環境の改善
勤怠管理システムを整備し、管理体制を強化します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

・患者数の確保(救急患者を含む)
入院・外来患者の目標数を達成するため病院や診療所等からの紹介患者の受入れを積極的に進めるとともに、病床稼働の安定を図り、ベットコントロールミーティングを継続します。救急科を充実させ、救急患者受入を強化します。

・病棟再編の検討
地域の医療ニーズおよび診療報酬改定を見据え、病棟の再編について検討します。

・病床稼働率の向上
各病棟の目標稼働病床数を見える化し情報共有することで、病床稼働率の向上を目指します。

・経費の削減
法人のスケールメリットを活かした物品の購入など支出の適正化を図り、経費の削減に努めます。

・光熱費の削減計画
電気・ガス・水道料の高騰に伴い使用量の削減に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
電動ベッド(×30)	12,270	リハビリ用訓練台	759	一般X線撮影装置	8,800	手術台	16,500
		薬品用冷蔵庫	744	X線撮影間接変換FPD装置	4,510	診断書作成管理システム	5,278
		就業管理システム	7,601				
購入等合計	12,270	購入等合計	9,104	購入等合計	13,310	購入等合計	21,778

令和6(2024)年度 事業計画（訪問看護ステーション）

施設名 昭島病院訪問看護ステーション

【地域における施設ミッション】

利用者が慣れ親しんだ地域や家庭で安心して療養生活を送れるよう、看護師が訪問し、看護ケアを提供します。

【重点項目】

◆ 目標1日平均訪問回数

R03(2021)年度実績	R04(2022)年度実績	R05(2023)年度見込	R06(2024)年度目標
12.2回	12.8回	14.4回	15.0回

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・多様な生活状況に寄り添い安心して在宅生活が送れるよう、24時間体制で利用者及び家族のニーズに対応します。
- ・昭島病院総合支援センターと密に連携し、入院から在宅、在宅から入院へのスムーズな対応と調整に努めます。
- ・ICTツールを活用し、多職種間での情報共有に努め、統一したケアを提供します。
- ・BCPの見直し・訓練を定期的に行い、利用者が安全・安心に過ごす事ができるように取り組みます。
- ・感染症予防対策の徹底を継続し、安定したサービス提供に努めます。

◆ 地域社会への取組み

- ・病院、昭和郷施設及び近隣事業所と協力し多職種連携で地域を支える関係を作り、地域包括ケアを推進します。
- ・居宅系施設及び事業所との委託契約による訪問看護を継続するとともに、介護職員が安心してケアに従事できるよう、24時間体制で対応します。

◆ 看護人材の育成と職場環境の整備

- ・各々のキャリアアップの取組みを推進し、専門的知識を高めます。
- ・ステーション内研修を定期的に行い、スタッフ間のケア統一を図ります。
- ・ICTツールを活用し、業務の効率化を図ります。
- ・4週8休の体制構築を進めると共に、ワークライフバランスの推進に取り組み、働きやすい職場づくりを目指します。
- ・感染症予防に努め、安心して働ける職場環境をつくります。

◆ 財務基盤の強化に向けた取組み

- ・利用率向上の意識を持ち、1日の訪問回数15回を目指します。
- ・収支・コスト意識を職員間で共有し、安定した運営に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

6. 収益事業の経営

収益事業の売上げは本会の社会福祉事業の経営に充てられます。社会福祉の充実に貢献します。

1. オフセット・活版印刷事業

事業所名 **事業局**

【ミッション】

顧客に必要とされ信頼される事業者となれるよう、サービス強化と情報発信に努めます。
顧客から他の顧客を紹介されるような事業者となり、あらゆる要望に応える体制を確立します。

【行動指針】

- 1 感染症予防と健康管理を怠らず、安全・安心な職場環境を継続します。
- 2 次につながる仕事を心掛け、事業継続を意識した行動力を養います。
- 3 防犯体制と情報セキュリティ対策を営業活動に活かし、新規の顧客獲得を目指します。

【重点項目】

◆ 人材の育成と職場環境の整備

・次の作業工程を考えた行動力を養います。
・職員同士のコミュニケーションを促し活気のある職場環境を構築します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

・新規顧客からのさらなる受注で実績を上げ、大型案件の複数回受注に努めます。
・コスト削減と作業の効率化を図り収益の向上に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
営業車	3,850						
製版機	3,520						
購入等合計	7,370	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

2. 不動産賃貸に関する事業

- 1 富士見町駐車場 / 東村山市富士見町2-7-14
旧サンホーム跡地を活用し、駐車場を経営します。
- 2 土地賃貸業 / 新宿区原町3-8
原町ホームの東側外構の一部を、隣接マンションの緑地帯として有償貸与します。
- 3 昭島病院駐車場 / 昭島市中神町1260
昭島病院敷地内で、来院者用駐車場を経営します。
- 4 Premier Court南青山 / 港区南青山1-17-8
旧サンライズ青山跡地を活用した集合住宅を経営します。(サブリース)

7. 社会貢献事業

地域の福祉ニーズに応えるため、本会の自主性、創意工夫による多様な地域貢献活動を行います。

事業名／内容	事業の実施場所																
学習支援 児童・女性支援系のグループ事業として4施設が連携し、市内の子どもの学習支援及び食事の提供を行います。 回数 日曜日 13時～15時(月2～3回) 対象 小学4年生～中学3年生 定員 15名 講師 職員、学生等(ボランティア) 運営 母子生活支援施設・児童養護施設・女性自立支援施設	昭和郷高齢者施設 さくらホール																
地域見守り事業 配食事業とともに、地域ニーズに沿った交流会を実施します。(月～金 昼夜15件/日)	サンホーム																
地域交流事業 介護予防教室、栄養教室、ランチ交流会等を実施します。また「福祉避難所」として、炊き出し訓練を実施します。「健康サロン」では、昭島病院の職員による健康チェック、健康体操等を催し、地域交流の場を提供します。	ニューフジホーム、原町ホーム、ゆたか苑 昭和郷高齢者複合施設 さくらホール																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>主な活動</th> <th>主な会場</th> <th>開催</th> <th>参加予定 (年間延人数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知症カフェ (華道・書道・手芸・イベント等)</td> <td>昭和郷高齢者複合施設 さくらホール 原町高齢者複合施設 地域交流室</td> <td>第2土曜 毎週木曜</td> <td>480 720</td> </tr> <tr> <td>ランチ交流会</td> <td>ゆたか苑</td> <td>不定期</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>健康サロン(健康チェック・講演等)</td> <td>昭和郷高齢者複合施設 さくらホール</td> <td>不定期</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	主な活動	主な会場	開催	参加予定 (年間延人数)	認知症カフェ (華道・書道・手芸・イベント等)	昭和郷高齢者複合施設 さくらホール 原町高齢者複合施設 地域交流室	第2土曜 毎週木曜	480 720	ランチ交流会	ゆたか苑	不定期	60	健康サロン(健康チェック・講演等)	昭和郷高齢者複合施設 さくらホール	不定期	—	
主な活動	主な会場	開催	参加予定 (年間延人数)														
認知症カフェ (華道・書道・手芸・イベント等)	昭和郷高齢者複合施設 さくらホール 原町高齢者複合施設 地域交流室	第2土曜 毎週木曜	480 720														
ランチ交流会	ゆたか苑	不定期	60														
健康サロン(健康チェック・講演等)	昭和郷高齢者複合施設 さくらホール	不定期	—														
利用者負担軽減 低所得者の利用料の負担を軽減します。	フジホーム、ニューフジホーム、原町ホーム、ゆたか苑、ひかり苑、昭島病院																
なんでも相談事業 豊島区社会福祉協議会を中心に、参加する社会福祉法人により障害者の相談事業を実施します。	さくらんぼ																
地域の子育て相談事業 育児相談「子育て仲間づくり・くじらっこ」、「児童館出前講座」を実施します。	昭島市児童センターぱれっと、各保育所																
防災拠点 ・防災弱者に対する災害時の一時滞在所機能を果たします。 ・地域の防災活動の中心として、防災拠点型地域交流スペースを開放し、各種講演会及び合同防災訓練を実施します。	昭和郷高齢者複合施設 さくらホール、同援はいじま保育園																

* その他、各事業所において施設機能を活かした各種相談事業や講習会等を実施します。

* SDGs活動への取組みを検討します。

8. 人材育成事業

事業内容	介護職員初任者研修(通信)
目的	介護の現場で働き始めて間もない方、またこれから介護の分野に携わろうとする方に向けて、介護の基礎的な知識・技術を習得する場を提供し、介護福祉士を目指す人材の育成を目的としています。
対象	介護の業務に従事しようとする方(職員含む)
期間	2024年9月～12月
内容	自宅学習 26時間 / 面接指導 104時間(17日間)
施設実習	14時間(介護実習 8時間 / 在宅サービス提供現場見学 6時間)
定員	12名
主な会場	昭和郷高齢者複合施設 さくらホール

Ⅲ 職員福利厚生制度ならびに職員研修制度

本年度の職員福利厚生事業、職員研修は、下記により実施します。

1. 永年勤続者表彰

10年勤続、20年勤続及び30年勤続職員の表彰します。

定年退職者表彰

定年退職前勤続10年以上の職員の表彰します。

2. 人間ドック健診の実施

就業規則第2条第2項に規定した職員が、40歳、50歳及び60歳になる年度に人間ドックを受診する際、その費用を助成します。

婦人科検診の実施

女性職員(社会保険加入)が婦人科検診を受診する際、その費用を助成します。

3. 福利厚生センター事業の利用

社会福祉法人福利厚生センターの福利厚生事業(ソウェルクラブ)に加入し、職員の福利厚生の向上を図ります。

4. 職員のメンタルヘルスケアへの取組み

EPA(従業員支援プログラム)に加入し、職員ならびに家族(同居)、退職者、復職者への支援カウンセリング等を行います。

GLTD(団体長期障害所得補償保険)に加入します。

5. 待機児童の一時保育室の利用

定員	5名
場所	昭和郷第二保育園 保育室「にほにこ」

職員の子ども(待機児童)を預かり、一時保育を行います。

6. 企業型「選択制」確定拠出年金制度の加入促進

職員の将来に向けた資産形成をサポートする福利厚生制度を職員へ周知し、加入を促進します。

7. 法人研修計画

研修名／内容	対象	時期
階層別「1on1コミュニケーション研修」	人事考課者及び人事考課者に準ずる職員	毎月(3H)
<p>人と組織が同時に成長できる組織インフラの構築を目的とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織インフラとして上司部下の信頼関係を構築し、高い心理的安全性の下で個々の能力を発揮させる 		
課題別「メンタルトレーニング研修」	新規採用職員及び1～3級職員	4～11月(3H)
<p>スポーツドクターによる独自の「FLOW理論」を学び、自己のパフォーマンスを最大限に発揮します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用スポーツ心理学とフローライフスキルの基礎を理解する。日常生活や業務での実践を経て振り返る 		
階層別「基礎研修」	原則1級職員(非常勤職員含む)	5月(6H)
<p>自分の職場における役割の認識と、業務を円滑に進めるコミュニケーションスキルの向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分と他者がどのような認知・認識(バイアス)を持っているかを理解する ・より良い協働関係を築くため自己理解と他者理解を促進する 		
課題別「法人キャリアデザイン研修」	1～3級職員	6、1月(3H)
<p>等級基準に基づく法人のキャリアデザインについて学び、求められる職員像の共有を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアップに必要な課題を知ることで仕事のやりがいにつなげる ・所属のグループだけではなく他のグループの職能基準を知り、法人を幅広く理解する 		
課題別「片付け研修」	全職員(非常勤職員含む)	8月(3H)
<p>整理・整頓を実践する(身に着ける)ことにより、職場環境や仕事習慣の向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務の無駄な時間に気づき削減することで、生産性の向上(コストパフォーマンス)を図る ・見えないコストであるタイムロス無くし、職場環境を改善して仕事力を活性化する 		
階層別「上級研修フォロー研修」	過去の上級研修受講者(主に主任・副主任)	9月(6H)
<p>チーム内の職員をフォローし、管理者の意向をチームに浸透させるなど、管理者を補佐する能力を取得します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本会・施設の理念と目標を実現するため、必要な環境整備や役割認識を身につける ・リーダー力を発揮するための「7つの役割」を習得する 		
階層別「新任フォローアップ研修」	2024年度の新卒採用職員	10月(6H)
<p>6か月間の職場実践を振り返り、変革時代のビジネスパーソンに求められることを再認識し、次の目標へ向けてステップアップを図ります。</p>		
階層別「新任研修」	新卒採用職員及び正規転換職員	3月(3日間)
<p>社会人として自覚と責任を持って質の高い仕事をするため本会の理念を学び、ビジネスマナーや仕事の進め方(報告・連絡・相談等)について理解を深めます。また本会の諸規程を理解し各種の届出等の具体的な手続きなどを学びます。</p>		

研修名／内容	対象	時期
「管理職候補者研修」	2022・2024年度管理職試験に合格した職員	5、11月
<p>2022年度管理職試験合格者は2年目、2024年度合格者は1年目の研修として、経営者に求められる知識(人事管理・経営管理)について学びます。</p> <p>この研修を通じて施設経営に関する実践的ノウハウを学び、管理職昇任に備えます。</p>		
「海外派遣研修」	副主任以上の職員(2名程度)	調整中
<p>新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、海外の情報を収集して実施を検討します。</p>		
「新規採用プレ研修」	2025年度の新規採用予定者	1月
<p>本会の理念と特色及び社会人としての基本的なマナーを学びます。</p>		
「庶務担当研修」 対面／オンライン併用	庶務担当職員	随時
<p>法令や制度改正及び、年末調整等の事務処理の理解を深め、法令遵守につなげます。</p>		
「経理担当研修」 対面／オンライン併用	経理担当職員	随時
<p>経理事務の理解を深め、効果的かつ適正な施設経営のフォローにつなげます。</p> <p>規程や関係通知に基づく正確な経理事務及び業種別の月次や決算の実務を学びます。</p>		

グループ別研修計画

グループ別に、年3～4回ほど、各テーマを定め専門的な課題の研修を実施します。また、グループ内だけでなく、他業種、他施設での研修を通して、連携を必要とされている異業種に関する理解を深めるとともに、職員の視野を広げ、その資質の向上を図る目的で、各グループ間交流の研修会も実施します。

・高齢者支援系

研修名／内容	対象	時期
「新任職員研修(フレッシュマン研修)」 利用者にとって望ましい介護とは何か、現場から説き起こす介護の実務と倫理を学びます。	新任介護職員	5月
「中堅職員研修」 質の高い人材、質の高い介護を目指して認知症ケア等の介護技術研修を行い、介護職員のスキルアップを図ります。	現任介護職員	12月
「介護職員初任者研修」 本会の職員が講師となり、地域貢献の一環として、広く地域の介護人材を養成します。	地域住民／無資格介護職員	9～12月
「現任職員研修」 外部講師によりケアの向上に資するようなテーマで講義を行い、実際のケアの振り返りを通してその向上を図ります。	全職員	12月
「新任職員フォローアップ研修」 1年間の振り返りを行い、今後の目標を定めます。	新任介護職員	1月
「施設間交換研修」 本会の他の施設の取組みを学ぶ中で、職員の資質向上およびモチベーションアップを図ります。	全職員	随時
「他法人交換研修」 他法人での介護業務を経験することで、自施設のケアの向上に寄与するような学びを得ます。	全職員	随時

・障害者支援系

研修名／内容	対象	時期
「新任職員研修」 基本的な接遇マナーを学び、ビジネスマナー、コミュニケーション技法を習得します。 グループ内の各施設を見学して事業を理解し、本会の組織の一員としての自覚を養います。	新任支援職員	7～11月
「全体職員研修」 リモートを活用した研修、また区部・市部に分けた合同研修を計画し、利用者支援の向上を図ります。 各事業所が同じ研修を受講することで、連帯感とともに職員の資質の向上を図ります。	全職員	10～11月
「階層別研修」 本会及び他法人の、特色ある事業を展開している施設を見学し、自施設でのリーダーシップを発揮した取り組みへと反映します。	リーダー層の職員	随時
「施設間人事交流研修」 前期・後期に分け人事交流研修を実施します。目的・対象者を明確化し、キャリアデザインに沿った人材育成に努めます。特に中堅職員を中心に、今後の基幹職員の育成の機会とします。	中堅層の職員	随時

・保育支援系

研修名／内容	対象	時期
「保育園におけるリスクマネジメントについて」 職員一人ひとりの危機管理についての意識が高められるようにするとともに、保育園における基本的なリスクマネジメントについて学びます。	新任職員及び若年層職員	4月
「保育実践プレゼン研修」 保育グループが目指す保育について、これまでに各園が実践してきたことを発表します。プレゼンを通して保育の方向性を振り返り、また他園の取組みを知ることで、自施設の保育に活かします。	全職員	6月
「保育研修」 子どもに係る権利条約を学び、日々子どもたちや保護者との関わりに活かします。	全職員	11月
「職員交流研修」 職員の階層や様々なグループ間で交流の機会を持ち、他園の取組み等を知ることで、職員の資質向上とモチベーションアップを図ります。	全職員	随時
「職員交換保育」 保育グループ内の他園の見学または交換保育を行い、他園の環境や取組みについて学びながら、自施設の保育や業務に活かしていきます。	全職員	随時

・児童・女性支援系

研修名／内容	対象	時期
「ハラスメント研修」 本会のハラスメントに関する基本姿勢を学ぶことで、職場風土の醸成と組織力向上につなげます。	全職員	5月
「記録の書き方研修」 記録の書き方の基礎を学び、より良い利用者支援につなげます。	全職員	7月
「虐待防止研修」 社会的擁護に携わる職員として虐待防止について理解し、アタッチメントから見た虐待と施設擁護のあり方を考えます。	全職員	9月

IV 評議員会及び理事会

定款の定めに従い、下記の評議員会、理事会を開催します。

1. 評議員会

開催予定	主要議案
2024年 6月	(定時評議員会) 前年度事業報告、決算報告承認／社会福祉充実計画承認
2024年 10月	補正予算承認
2025年 3月	最終補正予算承認、次年度事業計画、当初予算承認
臨時開催	事業運営の必要に応じて開催

2. 理事会

開催予定	主要議案
2024年 6月	前年度事業報告、決算報告承認／社会福祉充実計画承認
2024年 10月	補正予算承認
2025年 2月	施設長等人事
2025年 3月	最終補正予算承認、次年度事業計画、当初予算承認
臨時開催	事業運営の必要に応じて開催

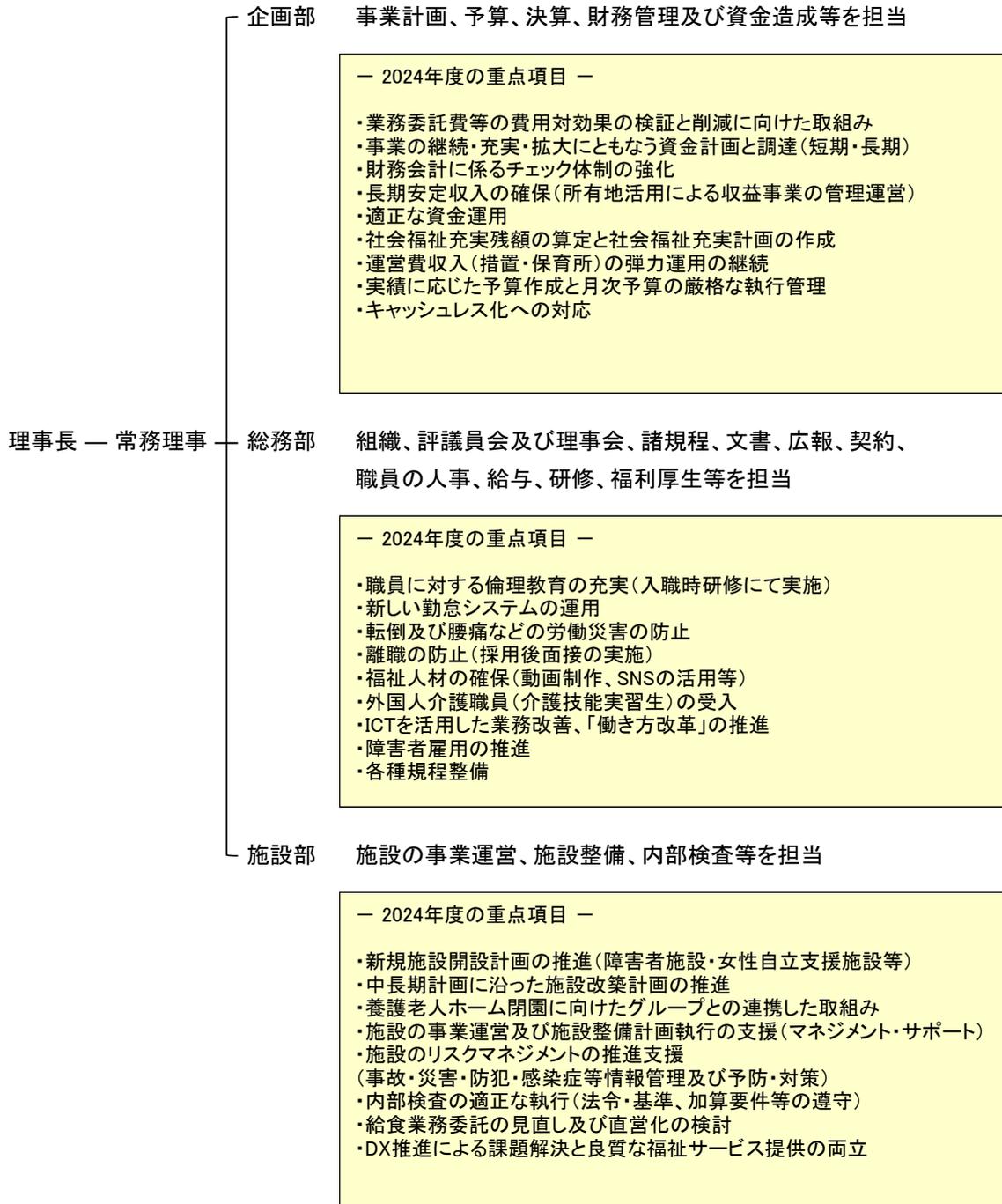
3. 評議員・監事・理事 (2024年4月1日現在)

評議員	五十嵐力平	本山美八郎	川向 良和	堀 茂
	岡橋 生幸	飯村 史恵	田中 康道	吉村 晴美
	細谷 訓之	七島 晴仁		
監事	鈴木 道生	根本 昌廣		
理事長	飯山 幸雄			
常務理事	横山 宏			
理事	宮崎 牧子	小林 一己	品川 卓正	雑賀 真
	西村 七重	上原 淳	田代 秀之	

V 事務局主要業務

理事長、常務理事を補佐し、本会全体に関わる各種業務の円滑な執行を図ります。

1. 組織（2024年4月1日現在）



2. 内部検査

施設、事業所の運営について、経理規程の定めるところを中心とした、事業全般にわたる内部検査を行います。

VI 施設長会及び各種委員会

本会組織規程に基づき、施設長会及び下記の委員会を設け、それぞれの運営要綱の定めにより、理事長の諮問に答え、あるいは理事長へ意見具申することにより、本会の事業の適正な経営に資するものとします。

1. 施設長会

本会の事業全般にわたる事項について、情報交換し、意見を述べ、事業の実現に向けた協力並びに活動を行い、本会の事業の推進の中核的役割を果たします。

- － 2024年度の重点項目 －
- ・2024年度の法人全体の運営状況を共有し、透明性の高い組織体制を構築します。
 - ・各拠点事業所間の連携強化を図り、ポストコロナを見据えた安定した組織づくりを行います。
 - ・新型コロナウイルス感染症対策等、事業継続に必要なあらゆるリスク管理に努めます。

2. 総合企画委員会

本会の事業全般にわたる企画、立案、計画等基本的な事項について調査、審議し、理事長に意見具申します。

- － 2024年度の重点項目 －
- ・第3期中長期計画に沿って事業を展開するとともに、2024年度における実行可能性と継続性を高め、法人経営の自立性や自主性のさらなる向上を目指します。
 - ・効果的かつ適正に事業を継続するため、2024年度事業の計画的な進行管理を行います。

3. 人事委員会

施設の幹部職員の任用・降格、職員の表彰・懲戒、採用、人材育成等、人事に関する必要事項について審議します。

- － 2024年度の重点項目 －
- ・隔年に行う管理職試験により選ばれた候補者を対象とした研修を行うことで法人や施設運営を担う人材を育成します。
 - ・法人内研究発表や施設、法人に貢献した職員の表彰について協議します。
 - ・懲戒処分の基準を整備します。
 - ・倫理教育を行うとともに規程や規則に違反した職員の処分を行います。

4. 規程整備委員会

本会の組織、人事・給与及びその他諸制度に関する規程について、検討し整備を行います。

- － 2024年度の重点項目 －
- ・職員処遇改善手当の再編及びベースアップを目指します。
 - ・多様な働き方ができる制度を構築します。
 - ・正規職員と臨時職員の待遇を明確化し、同一労働・同一賃金を目指します。

5. 人事考課評価委員会

職員人事考課程に基づき、人事考課に疑義があると判断された場合において、評価が公正かつ的確に行われているかの審査を行います。

6. 研修委員会

施設長、幹部候補職員、中堅職員、事務職員、新任職員等本会の職員の研修に関し、その企画、実施に当たります。

－ 2024年度の重点項目 －

- ・管理者対象の1on1コミュニケーション研修を通年実施し、職員との信頼関係、心理的安全の構築を図ります。
- ・一般職員対象のメンタルトレーニング研修を年間5回実施し、個々のパフォーマンスの向上を図ります。
- ・等級基準に基づく法人のキャリアデザインについて、求められる職員像を深化させます。
- ・組織においての役割の再認識やタイムパフォーマンスの考えを取り入れ生産性の向上につなげます。

7. 広報委員会

「同援だより」発行、本会のホームページの更新等本会の広報活動に関し、その企画及び実施にあたります。

－ 2024年度の重点項目 －

- ・法人の活動内容を広く紹介できるように、「同援だより」の発行、その他広報活動を行います。
- ・「同援だより」は、ニューフェイス号、盛夏号、秋季号、新春号の年4回発行します。
- ・本会の事業や魅力を東京都をはじめ地域自治体や学校関係者、各関係団体、後援会会員、利用者等に広く紹介します。また全職員へ配布し、本会の多岐に渡る事業について相互理解の促進に寄与します。

8. リスクマネジメント委員会

防災・減災、システムの安全管理の他、施設の経営管理上、多角的な視点でリスクを特定し、損失の回避、低減を図るための対策を講じ、啓発や対策指針案の策定を行います。

－ 2024年度の重点項目 －

- ・様々なリスク(災害、事故、感染症、違法行為)を集約・整理し、組織としての方向性・具体的対策について検討するとともに、各事業所における危機管理意識を高め、リスクマネジメント機能の強化を図ります。
- ・各事業所で作成している事業継続計画(BCP)の共有及び更新を行います。
- ・各グループからの提案や検討課題を適宜取り上げ、潜在的なリスクの早期発見、予防解決につなげていきます。

9. 情報システム委員会(リスクマネジメント委員会)

情報システムの適切な運用に関する推進を行います。

－ 2024年度の重点項目 －

- ・社会福祉におけるサービスの生産性向上に向け、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進に取り組みます。
- ・デジタル化の方向性を見据えたクラウドネットワークを活用し、計画的にITシステムを構築します。
- ・AIを活用し、ヒューマンエラー防止とスピードアップにより事務負担を軽減し、利用者支援の向上につなげます。
- ・電子申請やドキュメント管理を活用しペーパーレスを推進します。
- ・情報セキュリティのリスクを適切に管理するため、ITコーディネータ及び専門業者との連携を強化します。

10. その他

上記の他、必要に応じ委員会等を設け、本会の事業の適正な経営に資します。